

令和5年度
(2023年度)

事業報告書

社会福祉法人

広島修道院

目 次

1 概況	2
2 令和5年度目標の取組みと結果	3～18
3 児童の状況について	19～38
4 相談事業の状況について	39
5 心理療法事業の状況について	40～42
6 学習指導促進事業の状況について	43～44
7 退所児童自立相談事業の状況について	45～46
8 各種保育事業の状況について	47
9 職員の状況について	48～66
10 北村基金の状況について	67
11 施設設備等の整備状況について	67
12 寄付寄贈について	68
13 社会福祉充実計画の履行状況	69

広島修道院基本理念

広島修道院は、
「生命」を尊び、
「愛」を育みます

広島修道院々訓

忍 勤 清
和 儉 慎

1 概況

令和 5(2023)年度は、新型コロナウイルス、ウクライナ危機による世界的な物価高騰を契機に「新しい資本主義」の政策もあいまって企業の価格転嫁が進み始め、40年ぶりの物価上昇となりました。

こうした物価上昇の下、今年の春闘では、30年ぶりとなる高い水準の賃上げが実現し、物価や賃金が大きく動き始めており「デフレ」脱却に向けて変革が進んでいます。

当院では、本年度も子どもたちや職員に陽性者が出るなどしましたが、行政の支援もいただきながら、感染防止のための器具備品やマスク・消毒の購入などを行って参りました。引き続き、日々の養育・保育を着実に実施してきた一年でもありました。

社会的養護の分野においては、平成 29 年 8 月の「新しい社会的養育ビジョン」に沿い、家庭・里親養育のより一層の推進のための施策が国や県・市で取りまとめられています。

広島修道院におきましては、「家庭的養護推進計画」や「社会福祉充実計画」に基づく一連の本体施設の小規模化は完了しました。令和 4 年 2 月、懸案であった、きずなの家分園開設のための用地を取得し、分園整備のための準備委員会を設置、検討を進めて令和 6 年 3 月に小規模・地域分散化の第一段階として、きずなの家分園の落成に至りました。

里親委託の推進につきまして、令和 3 年度から広島市児童相談所からフォスタリング業務の一部を受託しており、里親研修、里親サロン、家庭訪問等の事業を実施しています。

広島県では西部里親支援センター業務の公募が実施され、令和 4 年度末に当院が委託事業者に選定され、令和 5 年 4 月から受託業務を開始しました。引き続き、里親への総合的な支援を実施してまいります。

児童家庭支援センターにつきましては、公募を経て広島市の設置認可を受け、令和 5 年 1 月に広島駅北口に新事務所を開設しました。地域の子育て相談等を幅広く受付し、広く支援に取り組み一定の成果を挙げています。

社会福祉法人は、昭和 26 年 3 月に社会福祉法人制度が創設されて以来、各種の公的助成制度の助けもあり福祉分野の担い手として脈々とその機能を果たしてきました。

児童養護の分野においては、前述のとおり新しい社会的養育ビジョン後、新たに里親支援という事業ニーズへの対応が求められています。

広島修道院も改めて原点に立ち帰り、社会のニーズに応えるため幅広い業務分野への対応と専門性の向上を図り、地域における存在意義をなお一層高める努力を払ってまいります。

【注記】

本事業報告は、社会福祉法第四十五条の二十七第二項に定める「事業報告並びにこれらの附属明細書」として作成したものです。

2 令和5年度目標の取組みと結果

○ 法人本部

(s)	期待される水準を大幅に上回っている。
(a)	期待される水準を上回っている。
(b)	期待される水準を概ね達成している。
(c)	期待される水準をやや下回っている。
(d)	期待される水準を下回っており、大幅な改善が必要。

※評価は(s)(a)(b)(c)(d)の5段階

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、 要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① ガバナンスの確立	ア 適正かつ組織的な法人運営の確保	・評議員会、理事会、監事及び理事長という社会福祉法に定められたガバナンス体制が確立し、適切に機能するよう法令を遵守した法人運営を行う。	・法定どおりの評議員会、理事会の開催招集通知の発送時期、計算書類等の開示、備え置き、議事録の作成・保管に関する規定等の遵守 ・内部規程の遵守 ・定款等による各種権限規定の遵守	・理事会6回、評議員会2回を定款等に基づき開催した。 ・規定を遵守し、招集通知、計算書類等の開示などを行った。 ・各種権限規定を遵守し、業務運営にあたった。	(b)	・法定どおりの評議員会、理事会開催実施 ・規定の遵守、招集通知、計算書類等の開示についても遅延なく対応した。

② コンプライアンスの徹底	ア 法令や内部規程に則った法人・施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・公益通報者保護等に関する規程等の研修・周知によるコンプライアンス意識の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象とした研修会の開催 ・公益通報、ハラスメント防止にかかる全職員を対象とした研修会の開催(年1回) ・公益通報、ハラスメント相談にかかる統計数値の理事会報告(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象とした研修会を5回開催し、82%(132人)の参加があった。 ・令和5年6月理事会でハラスメント相談に係る相談受付件数等の報告を行った。 ・公益通報は規程制定が12月となったため報告は行っていない。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会は、育休中などやむ得ず参加出来ない職員を除き参加した。 ・R5.12.26 理事会において、公益通報者保護等に関する規程が承認された。6年度から統計数値の報告を行う。
③ アカウンタビリティの徹底	ア 事業運営の透明性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、WAM(福祉医療機構)ネットによる、業務運営や財務内容に関する適時適切な公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・WAM(福祉医療機構)ネットによる適切な開示(令和5年6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年6月にホームページ、WAM ネットにより業務運営、財務内容に関する情報公開を行った。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・財務内容に関する情報について、WAM ネットにより情報公開を行った。
④ 公益的な取り組みの推進	ア 新ビジョン及び地域の子育て支援への対応と拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉充実残額を活用した対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・きずなの家分園整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉充実計画に計上し、令和6年3月23日に落成した。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・資材確保遅延による工期延長等があったが、令和6年3月に落成した。

⑤ 職員の育成	ア 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成、組織活性化のための人事交流、人事異動の定着化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意向調査の実施(年2回) ・施設間異動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年6月と10月に意向調査を実施した。 ・意向調査も踏まえ、人材育成等のために施設間異動(4名)を行った。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員の意向調査を確認し、人材育成等も鑑み施設間異動等対応実施した。
	イ 生涯研修規程の適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT、OFF-JT、SDS(自己啓発援助制度)による職員の能力開発と育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTリーダーの任命(各施設最低1名) ・施設外研修(オンライン研修含む)の受講者数(増減) ・SDSの利用件数、支援金額(増減) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともOJTリーダーを任命し、職員育成に努めた。 ・4年度延べ192人→5年度延べ244人～52人増 ・4年度38件、597千円→5年度25件344千円～△13件、△253千円の減 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員育成の為に新入職員へのOJTリーダー配置並びに自己啓発の為に研修他の推進を実施した。SDSの利用促進を図るため、引き続き職員へSDSの認知・活用について促していく。

<p>⑥ 経営の確保</p>	<p>ア 新ビジョンにおける多機能・高度化対応</p> <p>イ よりよい人材の確保</p>	<p>・広島修道院家庭的養護推進計画、社会福祉充実計画に沿った対応</p> <p>・実習生の受入と広報体制の強化</p>	<p>・きずなの家分園開設【再掲】</p> <p>・児童家庭支援センターわかくさの着実な運営(相談件数)</p> <p>・総合的な里親支援要請への対応及びフォスタリング業務の受託内容の拡充(フォスタリングチェンジプログラム等)</p> <p>・実習生(保育士・社会福祉士)受入数</p> <p>・外部専門業者のWeb媒体への当院採用情報登録</p>	<p>・家庭的養護推進計画、社会福祉充実計画の計画どおり、令和6年4月に開設した。</p> <p>・相談件数 4年度(R5年1月～3月) 638件 5年度 6,397件</p> <p>・広島市から委託されているフォスタリング業務に加え、5年度から広島県西部里親支援センター業務を受託し、総合的な里親支援要請への対応を行った。</p> <p>・42名の実習生を受け入れ、うち5名が当院の採用試験を受験した。(5名中4名を採用)</p> <p>・職員募集の際、外部専門業者のWeb媒体へ募集情報を掲載した。</p>	<p>(a)</p> <p>(b)</p>	<p>・家庭的養護推進計画、社会福祉充実計画のどおり開設出来た。</p> <p>・児童家庭支援センターわかくさの相談件数は、当初 2,000 件の見込みに対し、6,397 件の実績で大幅に上回った。</p> <p>・広島市、広島県より里親業務を受託し、総合的な里親支援要請への対応を行った。</p> <p>・学校とも連携し実習生受入から採用試験へと繋げる事は出来た。</p> <p>・職員募集の際に、外部専門業者のWeb媒体を活用した。</p>
----------------	--	--	--	---	-----------------------	--

○ 広島修道院

事業計画				結果	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの 最善の利益	ア ユニット運営の定点化と横断的な会議の活用	・ボトムアップ的な運営、職員間で「決定」に至る「経過」の共有を重視する。	・子ども的一天をつなぐ為に、引継ぎの時間の見直し。(朝・昼) ・リーダー会議・OJT会議・係会議 (月1回)	・業務多忙や欠員者の補完業務に追われ、職員全体が種々の決定にコミットしたと言いが難しいが引継ぎ時間の見直しをし、9時及び12時の2回にした。夜勤者、早出が情報整理し、昼の勤務者がねらいを持ってホームに入る仕組みが確立した。 ・OJT 会議の毎月開催は出来なかったが、中堅層や新任層から発案で「茶話会」を実施。コロナ禍で仕事外での職員同士の交流が希薄なので、好評だった。	(b)	・引継ぎ時間の見直しは出来た。昼の引継ぎをすることで午後から入る勤務者が子どもの対応をしやすくなった。 ・OJT 会議の毎月開催が今後の要改善点 ・若手職員を中心としたミーティング開催並びに職員同士のコミュニケーション確保は出来た。
	イ 安全委員会	・定期的なモニターを実施、安心安全の視覚化を行う。	・聞き取り用紙に、安心安全のスクーリングを導入	・スクーリングの導入を実施。(R5 年度年間平均 1F 7.0、2F 7.5)低年齢児の誹りからくる小さな暴力が頻回にあった。その中で、行動の振り返りや個別指導等を行うことで落ち着く児童もいた。	(b)	・スクーリングの導入を行った事により、施設全体の「安心感」の現状が分かるようになった。

	ウ アドボカシー	・アドボケイトに対する意識の醸成と子どもの意見表明の機会を保証する。	・子どもの権利について勉強会開催(年2回)	・ケアリーバーによる「子どものアドボケイト」に関する研修会に職員参加を促し意識の醸成に務めた。また、小学生対象で外部団体による「子どもの権利条約ワークショップ」に3度(15名)参加した。	(b)	・「悪い結果」を用いることで行動の変化が表れる児童が出てきたことは一定の成果 ・意識醸成並びに研修参加は出来た。但し、養育現場へのアドボケイトの導入には、行政連携等課題が残る。
② 人材育成による支援の質の向上	ア 分園化を睨んでの取り組み	・個々の養育能力の向上、連携して支援の在り方について、職員集団の資質向上に帰する取り組みを行う。	・対話形式による部下育成(週1回 15分) ・ケーススタディ(毎月)・場面練習(平日毎日)の開催 ・循環型人材育成研修の開催(各階層 年4回)	・対話形式は開始出来なかった。場面練習(平日朝)は5月で終了。ケーススタディ、循環型人材研修による人材育成は概ね出来た。但し、短期間での職員の資質向上を狙ったことにより、成果の度合いは職員の資質等もあり格差が出た。	(b)	・人材育成に向けた研修等は概ね出来た。 ・短期間での研修での成果を求めるのではなく、中長期での人材育成を目指す。 ・人材育成・研修以前に業務内容の効率化等による、余剰時間の確保並びに負担軽減が今後の課題
③ 家族・里親・関係者・地域等への支援の充実	ア 子どもの自立に向けての支援と家族支援	・子どもの最善の利益を実現する為に、養育の永続性・連続性を確保に向けて取り組む。関係機関と連携し、支援計画を作成、それに沿った支援を行う。	・児相との連携 自立支援計画のアセスメント(年1回)	・児童相談所との連携は密に行った。 ・養育の永続性・連続性は、年度途中の体制変更や問題行動等による措置変更、高年齢児童による非行などがあり、「対処療法」に止まった。	(b)	・児童相談所との連携、自立支援計画のアセスメントは実施 ・養育の永続性・連続性を反映した支援は、途上であり今後の課題

	<p>イ ショートステイの受け入れ体制の充実</p>	<p>・利用児童の不安を軽減、楽しく過ごしてもらう為、受け入れ体制を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携実習の受入とマニュアルの見直し ・児童家庭支援センター「わかくさ」との連携会議参加(毎月) ・フォスタリング支援業務への協力研修時の預かり保育の実施 ・入所時面接・ウェルカムパーティー・お別れ会の実施(随時) ・地区の家庭支援コーナーとの情報共有(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習受入は、対象先養成校から行い実習の質並びにマニュアルの見直しは実施 ・毎週金曜日に「わかくさ」と連携して「要支援家庭」の児童の一時預かりなどを実施した。また退所児童の情報交換・収集を実施 ・フォスタリング業務への協力は託児をはじめ積極的に行った。 ・受入時の児童不安軽減の為、オリエンテーション強化を実施。また、保護者向けには預かり中の様子をお知らせする通信を実施。ショートステイにおけるウェルカムパーティーやお別れ会は未実施 ・要支援家庭の児童の定期的な利用に対応。預かり児童の家庭での暴力被害の事実を聴取し児童相談所、各区に情報提供等の連携対応実施 	<p>(b)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習受入・マニュアルの見直しは完了 ・「わかくさ」と連携し、児童の情報交換等は出来た。 ・フォスタリング業務への協力は出来た。 ・ショートステイについて利用が常態化しているケース(要支援、虐待防止の観点から来ているもの)と通常の預かりケースの仕分けが必要 ・児童相談所、各区との連携は出来た。
--	----------------------------	--	--	---	--

○ 広島修道院きずなの家

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの 最善の利益 の保証	ア 暴力のない安心で 安全な生活	・安全委員会方式の実 践を継続	・月1回 聴き取りと安心度 スケール実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回個別聴き取り実施 ・安心度スケール(R5.4月～R6.3月平均 値)中高生9名 5.6/小学校6名 8.4/幼児 4名「楽しい」 ・子どもたちに聴き取りが定着、「境界線 を守る」「プライベートゾーンを守る」視点が 共有されてきた。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模で関わりが長く なっている中で、境界 線の意識が緩くなるこ とへの対応と子ども同 士の関係調整が課題
	イ あたたか い家庭的養 育環境と育 ちあう集団 づくり	・CSP(コモンセンス・ペアレン ティング)に学ぶ。 『育み』を意識し、『効 果的ほめ方』教育法を 実践する。	・全職員の連続講座(幼児 版または学齢期版)受講	<ul style="list-style-type: none"> ・連続講座 学齢期版10名、幼児版4名 受け、全職員受講達成 ・社会スキルの練習を通して、ほめる回数 が増え、良い関わりのきっかけとなった。 ・「あたり前にできていることへの注目を意 識的にする」ことが共有され、子どもに肯 定的評価を伝えることが増え、関係性づく りに効果を上げた。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切行動に対して の「悪い結果」(責任を 取る)について整理・ 共有し、小さな結果 (やり直し)を意識的に 取り組むことが課題
	ウ 基礎学力 の向上と社 会体験の蓄 積	・公文式学習・塾利用 での学力補充、院内 外活動への積極的参 加	・子どもの院外活動場面の 増加	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに1名、スイミングスクールに通い始 め、自信につながっている。 ・小学校低学年児が、公民館でのイベント に希望して一人で参加するなど積極性が 見られるようになった。 ・入所前まで外出機会の少なかった幼児に 段階的に外出機会を増やして体験を積み 重ねることができた。 	(a)	<ul style="list-style-type: none"> ・院外でのふるまいに ついて、事前の予防 教育をより丁寧にする ことが課題 ・個々の進度・特性に 合わせた進度調整に

				<ul style="list-style-type: none"> ・公文学習は、個々の特性や進度に合わせた工夫をし、小学生6名中、3名が学年相応教材、1名が学年相応教材を超えた。 		<p>関して、大人側のスキルアップが必要</p>
② 関係者とのつながりと連携	<p>ア 共同子育ての家庭支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お便り『絆』を通して、子どもの成長・課題を保護者と共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの近況記載を加えて、毎月初め発送 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月初めにお便りを発送。今年度は写真(A4ラミネート)を同封することで、保護者に子どもの様子や雰囲気伝わりやすくなり、子どもへの関心を深め、保護者子ども間、保護者施設間の信頼関係づくりに役立った。 	(a)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡が児相経由になっているケースについて、子どもの安定につなげるために、保護者との関係構築が課題
	<p>イ 里親子養育支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フォスタリング相談室との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業への里親支援専門員の参加協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォスタリング相談室との連携で、子どもの家庭状況に合った、里親縁組を要望しやすくなり、週末里親縁組3ケースのマッチングを開始できた。 ・里親養育実習受け入れ3組 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・フォスタリング相談室業務について、職員全体への周知と理解が課題
	<p>ウ 関係機関、地域とのつながりと連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童家庭支援センターわかくさと連携し、家庭引取りケースのアフターフォローとモニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 ケースへの訪問支援協力他機関連携で、困難ケースに対して共通の支援プランの作成と実践 ・定期的な(年3回以上)ケース会議開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所、学校、保護者、警察等、連携協力して困難ケースに取り組んだ。 ・保護者対応が難しいケースに対して、保護者交流のたびに児相が聴き取りをして気持ちのスケールを通してアセスメントし、方針を共有した。子どもも気持ちの表出ができるようになってきた。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・警察連絡等、緊急対応時の伝達フォーマット作成や、段階に合わせた対応の基本的な流れなどを共有できるような体系・マニュアル整備が課題

③ 人材育成と専門性の向上	ア 職員の関係性の質の向上と集団づくり	・循環型人材育成研修システムづくりの継続	・各階層 研修(年4回)	・階層研修 各階層年4回を実施 ・各階層で感じる施設課題について、講師(岡本氏)を通してフィードバックし合い検討し合うことができた。	(b)	・循環型体系を目指して、ベース研修の継続と研修効果測定ポイントの作成が課題
	イ 人材育成と資質向上	・係会議を設置し、組織運営の充実を図る。	・係会議の新設	・係会議新設(性教育・四季行事)によって、職員が意見を出し合って主体的に行事を企画運営することができるようになり力を発揮している。新しい行事が企画され、部屋職員以外の横の繋がりができた。	(a)	・係会議からの全体への発信が遅れることがあり、LAN上での記録発信等をつかって早めに行うことが課題
	ウ 実習生の受け入れと人材確保	・「ここで働いてみたい」と感じられるような懇切丁寧な実習指導	・実習生ごとに振り返りと応援の会実施	・4大学6名を受け入れた。 ・実習指導マニュアルが作成でき、それを基に指導がやりやすかった。 ・毎日、振り返りの時間を確保し、丁寧に聴き取り、指導につなげることができた。 ・反省会にお茶とお菓子を出し、話しやすい雰囲気や労いの気持ちを表した。	(b)	・家事の仕方を統一して指導できるようにすることは課題

○広島乳児院

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 応答・愛着の育み	ア 応答関係の構築愛着関係の育み(助けを求められる子どもに)	・情緒面の発達支援	・発達段階に応じた遊びや読み聞かせ、わらべ歌や感覚統合を目的にした設定保育の実施(随時)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児クラスの毎月1回の感覚統合遊びを実施、応答関係を構築し、愛着関係を築けるよう努めた。 ・ケアニーズの高い子に対しての個々のニーズに沿ったケアを実施した。 ・日常的ではなかったが会議等で人員に余裕がある時には幼児クラスの横割り保育を実施 ・心理療法担当職員によるアセスメントは、一保強化の行動観察にとどまった。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・助けを求められ、自ら発信できる子(非言語含め)になるために日々の養育も大人が関わって遊ぶことにより、細かいサインを見逃さず、行動の意味を考えて養育している。 ・養育に関して、職員間で共通認識を持つことが課題 ・心理療法担当者の業務について、他施設心理療法担当者と連携し業務内容について改善を目指す。
② 人材育成	ア こどもの権利擁護の強化	・職員のこどもの権利擁護についての意識を高め、不適切な対応の防	・職員アンケートをとり、委員による聞き取りを3か月に1回実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「権利擁護」を主題とした講義を院内研修に盛り込んだ。 ・不適切な養育を目にした時など、日常的 	(b)	・権利擁護の意識をより高めるために、年間の内外部の研修に参加

		<p>止と豊かな発達の保障に努める。</p> <p>・オレンジの会の取り組みをさらに充実させる。</p>	<p>・主任会議で各部屋から不適切な養育の報告を共有し、聞き取りを実施する。(毎月)</p>	<p>な声掛けに繋がった。会議等で各部屋から報告を習慣づけたが、不適切養育の予防にはつながらなかった。</p> <p>・院内でのコロナ感染等もあり、通常業務体制維持が困難となりアンケートは出来なかった。</p> <p>・「オレンジの会」の聞き取りは、コロナ感染等により通常業務体制維持が困難となり年1回にとどまった。権利擁護の意識を高め、日々の養育の振り返りについてはできた。</p> <p>・毎日、ルーティンで行なっているヒヤリハットを半期に1度集計し、事故が起こりやすい時間帯、場所を特定し事故防止に努めた。</p>	<p>し、共通認識のもと日々の養育の中で子どもの権利擁護とは何かを考えながら養育している。</p> <p>・「オレンジの会」の聞き取りの回数を増やし、不適切養育の予防、防止に努めていく。</p> <p>・年1回で権利擁護の研修、外部研修等を通し、その意識をたかめるようにした。</p> <p>・軽微な気づきを積み上げる事で大事故発生を未然防止している。</p>
③ 地域貢献	<p>ア 育児相談</p> <p>イ 一時保護・ショート</p>	<p>・育児相談の充実</p> <p>・一時保護・ショートステイの受け入れを進め</p>	<p>・児童家庭支援センターわかくさとの連携による、地域住民からの子育て相談を受ける。</p> <p>・心理療法担当職員によるアセスメントの実施</p>	<p>・児童家庭支援センター「わかくさ」開設により退所児童のアフターケア等の連携がとれた。</p> <p>・一時保護延人数:2,393名、一時保護強化児延人数:1,603名、ショートステイ延人</p>	<p>(b)</p> <p>・「わかくさ」との連携により、退所児童へのサポートも可能となった。</p> <p>(b)</p> <p>・一時保護とショートステイの利用の境目が</p>

	<p>ステイ児の受け入れ体制整備</p> <p>ウ 里親支援とフォスタリング事業</p>	<p>る。</p> <p>・フォスタリング業務の着実な実施</p>	<p>(一時保護強化児)</p> <p>・ショートステイ受け入れ充実と各区子ども家庭相談コーナーとの連携強化</p> <p>・家庭訪問は、里親委託後のフォローアップ(当初令和3年度以降に委託された児に限られていたが3年以前の子どもたちの家庭訪問も委託されることになった。)</p> <p>・児童相談所の里親支援員と協力し、マッチングの調整、実施</p>	<p>数:355名</p> <p>・一時保護、一時保護強化児の増加によりたんぼぼのショートステイの部屋で支援を受けるなどの対応実施</p> <p>・ショートステイは、新規利用希望の増加やリピーターの増加により断らなければならないケースも発生</p> <p>・委託里親家庭の支援のためにレスパイトケアの受け入れの拡充実施</p> <p>・今年度は、県のフォスタリング事業の委託も開始したことから家庭訪問や研修もあった。里親委託児は1名。令和3年度以降の委託児を訪問することになっていたが今年度は、令和3年度以前の委託児も新たに加わり、里親支援専門相談員とフォスタリング要員と共に家庭訪問を実施</p>	<p>(b)</p> <p>・引き続き西部子ども家庭センターや市児相との報告・連絡を密にする。</p> <p>・レスパイトは、原則断らないようにした。</p> <p>・ショートステイに関しては、各区の子ども家庭相談コーナーとの連絡を密にした。(何か変わったことがあれば早急に連絡した。)</p> <p>曖昧な状態。今後は一時保護・ショートステイの受け入れ増加のために十分な職員確保と柔軟な受け入れ体制の検討が必要</p>
--	--	-----------------------------------	--	---	--

○ 広島修道院保育園

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 心身ともに健やかなこども	ア 生きる力の基礎を培い、豊かな心を育成していく	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある自然環境・資源を十分保育に取り入れていき、子どもたちが多様な経験を積み重ね、心身ともに健やかに成長していけるよう育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然を保育に取り入れられるよう、活動計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・畑やグラウンド、散歩先の山々など自然環境をしっかりと活用していき、自然保育計画作りの話し合いを設け、活動計画を作成していき、令和6年1月には、ひろしま自然保育認証制度の認証を受けることができた。 ・「全体的な計画」に身近自立の項を入れたことにより、年齢別に月案などに意識的に取り入れ、子ども達の身近自立を促すことができた。 	(a)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の散歩の回数も増え、しっかり歩き、自然の不思議さに気づけるよう働きかけができた。 ・同年齢でも個人差が大きいため、個別により細かく身近自立に向けて指導していく。
	イ その暮らしが發揮される環境づくりを通してこども主体の保育を創る		<ul style="list-style-type: none"> ・身近自立の力を育めるよう、全体的な計画を期ごと(5回)に見直しながら保育をすすめる。 		(b)	
② 人材育成	ア 職員の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「こども主体の保育とは何か」を具体的に考え合い、保育の質を高める。 ・職員連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加し、保育内容の勉強会を行う。(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内勉強会のテーマ別に参加者を固定したので、継続して学べ、内容が深まった。施設外(ZOOMを含む)研修には一人1講座以上参加し、学びを深めた。 ・クラス会議は定期的には開催できたが、目の前の行事の取り組み方などで時間がなくなり、日々の保育や子どもの様子を話題にできたのは少なかった。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告は、限りがあるので、研修参加一覧表を作り、興味あるものの資料を閲覧できるようにする。 ・クラス内で子どもの様子を伝え合う時間を一日5分でも、もてるようにしていく。
	イ 育ちあう職員連携づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にクラス会議の開催など、話し合える環境・雰囲気を作っていく。 		(b)	

③ 地域への 貢献	ア 地域への 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> •きんさい みんなの保育園・わかばパパ、ママ応援教室の魅力的な実施、広報をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> •子育て支援をもち込んだ記念誌をつくり、活用していく。(年度内) 	<ul style="list-style-type: none"> •保育園の25周年誌、リクルート&子育て支援の冊子を作ることができた。 	(a)	<ul style="list-style-type: none"> •リクルート&子育て支援の冊子をしっかり活用していく。
	イ 保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> •子育て情報の発信をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> •クラスだより保護者支援のコーナーを設け毎月、発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> •クラスだよりのコーナーでは、スペースに限りもあることから、保護者にどれだけ読まれて理解して貰っているかわからない。 	(b)	<ul style="list-style-type: none"> •保護者支援を月に1回、各クラス掲示板に張り出し、親子で話題にできるようにしていく。

○ 児童家庭支援センター わかくさ

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの最善の利益の保証	ア わかくさの強みを生かす。	・訪問、相談機能の強化	・年間の相談件数 2000件を目標とする。 ・訪問支援事業を年間で15世帯を目標とする。 ・初回面接後、二回目以降の相談継続率の目標を60%以上とする。	・年間の相談件数が6,397件となった。目標値の三倍である。訪問支援事業は事業としては15世帯であるが、30世帯の家庭へ同様の家庭訪問を行っている。	(s)	・市民、利用者の目線に立った支援を行った結果、予想を上回る相談件数となった。利用者からの苦情やトラブルが一件もなかったことにも着目したい。
② 関係者とのつながりと連携	ア 関係機関、地域とともに支える。	・関係機関、地域との連携を深める。	・開催される要対協実務者会議すべてに参加する。	・16回開催された要対協実務者会議すべてに出席した。	(b)	・要対協実務者会議や関係者会議への出席によって、わかくさのPRができた。
	イ 関係機関、地域との情報共有を大切にする。	・関係機関、地域との情報共有の強化	・月に一回以上は関係者会議に参加する。	・関係者会議も月二回程度は出席することができた。	(b)	・関係者会議への参加は、関係者との関係強化、必要な支援の理解へと繋がった。
③ 専門性の向上と人材育成	ア 人材育成と資質向上	・人材育成と資質向上のための具体的方策を実施	・循環型人材育成研修への参加 ・職員が自己実現できるような土台を作る。 ・研修への参加の保障	・研修への参加の保障は達成された。一方で、わかくさの場合、研修に参加すると、一般業務への支障が出るのが露呈された。	(b)	・1研修に複数の参加は難しいため、対応策を考えていく。

3 児童の状況について

(1) 入退所の状況

① 広島乳児院（定員 29 名）・※広島市一時保護委託強化事業（定員 5 名）

（単位：人）

月	措置児童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初 日 合 計	充 足 率 △ 初 日 ▽ %	市一時保護委託強化事業					
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員				前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員
4	15	16	2	0	17	506	7	5	4	4	7	137	0	1	10	10	0	46	689	22	76	4	2	4	3	5	130
5	17	17	0	0	17	527	7	8	12	7	12	287	0	0	14	14	0	41	855	25	86	5	4	1	1	5	154
6	17	17	0	0	17	510	12	11	9	7	14	339	0	0	12	12	0	33	882	28	97	5	5	3	3	5	152
7	17	17	2	0	19	562	13	13	2	5	10	352	0	0	12	12	0	31	945	30	103	5	5	2	3	4	144
8	19	21	2	0	21	651	10	7	2	4	8	228	0	0	17	17	0	47	926	28	97	4	5	2	1	5	148
9	21	22	3	0	24	703	8	7	3	4	7	216	0	1	10	8	2	33	952	30	103	5	5	4	4	5	126
10	24	22	2	2	24	721	7	7	2	4	5	173	2	1	12	14	0	28	922	30	103	5	5	0	2	3	131
11	24	24	1	1	24	716	5	6	6	4	7	179	0	0	4	4	0	9	904	30	103	3	5	3	1	5	142
12	24	23	0	1	23	682	7	7	3	5	5	194	0	0	9	9	0	16	892	30	103	5	3	2	3	4	134
1	23	23	2	0	25	713	5	5	2	4	3	110	0	0	3	3	0	14	837	28	97	4	4	0	1	3	118
2	25	25	2	2	25	709	3	2	3	2	4	78	0	2	13	13	0	33	820	29	100	3	3	1	1	3	96
3	25	24	1	4	22	698	4	4	2	4	2	100	0	0	10	10	0	24	822	28	97	3	3	2	1	4	128
合計	251	251	17	10	258	7698	88	82	50	54	84	2393	2	5	126	126	2	355	10446	338	97	51	49	24	24	51	1603

広島乳児院の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護児童	ショートステイ	合計	広島市一時保護委託強化事業
前年度末数	15	7	0	22	4
本年度入所数	17	50	126	193	24
計	32	57	126	215	28
本年度退所数	10	54	126	190	24
本年度末数	22	2	0	24	4

※ 措置児童に短期措置（第330号厚生省児童家庭局長通知）含む

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

※ 広島市一時保護委託強化事業H24年度より委託開始（5名定員）

② 広島修道院 (定員 80 名)

(単位：人)

月	措置児童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初 日 合 計	充 足 率 △ 初 日 √ %
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員			
4	71	72	3	2	72	2038	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	1	34	2072	72	90
5	72	72	0	0	72	2077	0	0	2	0	2	4	0	0	5	5	0	21	2102	72	90
6	72	72	1	4	69	2012	2	2	0	1	1	31	0	0	10	9	1	45	2088	74	93
7	68	68	1	0	69	2130	1	1	0	0	1	31	1	1	3	2	2	32	2193	70	88
8	69	69	1	0	70	2147	1	1	0	0	1	31	0	1	2	2	0	11	2189	71	89
9	70	70	0	0	70	2100	1	1	0	0	1	30	0	0	7	7	0	28	2158	71	89
10	70	72	2	1	71	2226	1	1	0	1	0	12	0	0	4	4	0	9	2247	73	91
11	71	71	1	0	72	2136	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	0	42	2178	71	89
12	72	73	3	2	73	2232	0	0	0	0	0	0	0	0	7	6	1	19	2251	73	91
1	73	73	2	1	74	2246	0	0	1	0	1	27	1	0	6	7	0	18	2291	73	91
2	74	74	1	1	74	2127	1	1	0	0	1	29	0	0	6	6	0	20	2176	75	94
3	74	75	2	6	70	2275	1	0	0	1	0	0	0	3	10	10	0	25	2300	78	98
合計	856	861	17	17	856	5746	8	7	3	3	8	195	2	5	76	73	5	304	26245	873	91

広島修道院の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護 児童	ショート ステイ	合計
前年度 末数	71	0	0	71
本年度 入所数	17	3	76	96
計	88	3	76	167
本年度 退所数	17	3	73	93
本年度 末数	70	0	0	70

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

③ 広島修道院きずなの家 (定員 20 名)

(単位：人)

月	措置児童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初 日 合 計	充 足 率 △ 初 日 ▽ %
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員			
4	17	19	2	0	19	570	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	570	19	95
5	19	19	0	0	19	588	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	588	19	95
6	19	19	0	0	19	540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	540	19	95
7	19	19	0	0	19	558	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	10	568	19	95	
8	19	19	0	0	19	558	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	5	563	19	95	
9	19	19	1	0	20	552	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	554	19	95	
10	20	20	0	0	20	577	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	577	20	100
11	20	20	0	0	20	570	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	570	20	100
12	20	20	0	0	20	589	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	589	20	100
1	20	20	0	1	19	589	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	589	20	100
2	19	19	0	0	19	551	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	551	19	95
3	19	19	1	3	17	568	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	568	19	95
合計	230	232	4	4	230	6810	0	0	0	0	0	2	0	5	5	2	17	6827	232	97	

広島修道院きずなの家の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護 児童	ショート ステイ	合計
前年度 末数	17	0	0	17
本年度 入所数	4	0	5	9
計	21	0	5	26
本年度 退所数	4	0	5	9
本年度 末数	17	0	0	17

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

(2) 入所理由別の措置状況

① 措置児童

(単位：人)

	理由	修道院	きずなの家	乳児院	合計
家族の状況	拘禁	0	0	0	0
	離婚・別居・死亡	0	0	0	0
	遺棄	0	0	0	0
	父母家出・行方不明	0	0	0	0
	養育放棄・拒否	0	0	1	1
	怠惰・放任	0	0	0	0
	虐待(疑)	0	0	0	0
	就労・生活苦	0	0	0	0
家族の疾病	精神疾患	0	0	0	0
	その他の疾病	0	0	1	1
児童の問題	児童の問題による監護困難	0	0	0	0
その他	その他	3	1	2	6
措置変更	併設施設	12	3	15	30
	他施設	2	0	0	2
合計		17	4	19	40

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知(短期措置)含む

② ショートステイ(子育て支援事業)

(単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合計
父母の入院・疾病	5	0	10	15
母の出産	1	0	2	3
父母の出張等	24	0	6	30
家族等の看護	0	0	0	0
冠婚葬祭	3	0	2	5
育児疲れ・不安	35	3	93	131
その他	8	2	13	23
合計	76	5	126	207

③ トワイライトステイ(子育て支援事業)

(単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合計
利用件数	9	1	0	10
延べ日数	9	1	0	10

④ 里親レスパイト・ケア

(単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合計
利用件数	8	0	15	23
延べ日数	32	0	56	88

(3) 退所理由の内訳 (措置児童)

(単位：人)

理由		修道院	きずなの家	乳児院	合 計
措置解除	家庭引取	7	1	2	10
	養子縁組	0	0	0	0
	自立就職	5	1	0	6
	無断外出	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0
	その他	0	2	0	2
措置変更	併設施設	4	0	6	10
	他の施設	1	0	1	2
	里親委託	1	0	0	1
	その他	0	0	2	2
自然終了	期間満了	0	0	0	0
家庭引取	家庭引取	0	0	0	0
その他	その他	0	0	0	0
合 計		18	4	11	33

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知(短期措置)含む

(4) 年齢構成 (男・女)

令和06年03月31日現在

(単位：人)

施設	年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18-	合計
広島修道院	男	0	0	5	4	5	2	3	3	1	4	2	4	3	2	4	2	0	0	0	44
	女	0	0	0	2	3	2	1	1	2	3	0	2	3	0	2	3	1	1	0	26
	計	0	0	5	6	8	4	4	4	3	7	2	6	6	2	6	5	1	1	0	70
広島修道院きずなの家	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	6
	女	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	2	1	1	11
	計	0	0	0	0	1	0	3	1	1	1	0	2	1	0	1	0	3	1	2	17
広島乳児院	男	5	3	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	女	3	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	計	8	9	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
合 計	男	5	3	5	7	6	2	4	3	1	5	2	5	4	2	4	2	1	0	1	62
	女	3	6	2	2	4	2	3	2	3	3	0	3	3	0	3	3	3	2	1	48
	計	8	9	7	9	10	4	7	5	4	8	2	8	7	2	7	5	4	2	2	110

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知(短期措置)含む

(5) 就園・就学児童の学年構成 (児童養護施設)

令和06年03月31日現在

(単位：人)

教育 性別	幼稚園		小学生						中学生			高校生			大学		合計
	年中	年長	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	
男子	6	3	3	2	5	2	3	3	4	4	3	1	0	0	1	0	40
女子	3	3	3	3	0	3	2	2	2	3	3	3	2	1	0	0	33
合計	9	6	6	5	5	5	5	5	6	7	6	4	2	1	1	0	73

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知(短期措置)含む

(6) 措置機関別の当年入所措置状況

(単位：人)

措置機関	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
広島市児童相談所	15	4	12	31
広島県西部こども家庭センター	2	0	5	7
広島県北部こども家庭センター	0	0	2	2
合 計	17	4	19	40

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知(短期措置)含む

(7)疾病の状況

対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 施設別、受診科別通院（入院）実績

（単位：件）

区分	乳幼児ホーム (乳児)	乳幼児ホーム (児童籍)	広島修道院	きずなの家	合計
小児科	183(2)	28	82(1)	42	335(3)
外科・整形外科	29	11	70	11	121
耳鼻咽喉科	31	25	158	70(1)	284(1)
皮膚科	32	10	130	16	188
眼科	18	1	37	16	72
歯科	36	20	71	36	163
療育センター	75	0	60	6	141
脳神経外科	2	0	11	2	15
精神科	0	0	101	8	109
婦人科	0	0	11	2	13
感覚器科	0	3	0	0	3
合計	406(2)	98	731(1)	209	1,444(4)
うち男性	271(1)	63	419(1)	57(1)	810(3)
うち女性	135(1)	35	312	152	634(1)

※（ ）は入院件数の内数

（令和4年度1,315(5)）

2 受診科別の主な病名

区分	主な病名
小児科	急性上気道炎、急性咽頭炎、川崎病、喘息様気管支炎、ウイルス性発疹症、感染性胃腸炎、コロナウイルス感染症、インフルエンザ、肝機能障害、食物アレルギー、喘息、鼻炎、左肺動脈狭窄、便秘症、熱中症、溶連菌感染症、熱性痙攣、アデノウイルス感染症、水痘、予防接種、乳幼児健診 ウイルス性腸炎 虫刺症 肺動脈狭窄、成長ホルモン分泌不全 尿路感染症
外科・整形外科	後頭部打撲、頭蓋内出血、右鼠径ヘルニア、上肢打撲 尿道下裂 顔面挫創 硬膜下水腫、尺骨神経損傷、
耳鼻咽喉科	急性中耳炎、急性副鼻腔炎、滲出性中耳炎、中耳外耳炎、耳垢塞栓、鼓膜穿孔、異物混入、アッシャー症候群、アデノイド増殖症、感音性難聴、人口内耳
皮膚科	蕁麻疹、乳児湿疹、アトピー性皮膚炎、湿疹、刺虫症、火傷、伝染性軟属腫、ヘルペスウイルス感染症、帯状疱疹、尋常性疣贅、尋常性ざ瘡、顔面外傷
眼科	近視、アレルギー性結膜炎、遠視、結膜炎、近視性乱視、眼鏡処方、麦粒腫 間歇性斜視
歯科	齲歯、歯肉炎、歯石、歯垢、齲歯治療、外傷性歯肉炎、歯列不正、
療育センター	運動発達遅滞、リハビリ(自閉スペクトラム症)、言語障害、言語発達遅滞、ADHD、構音障害 ASD 発達性協調運動障害 難聴支援(ありんこ教室、山彦園)
脳神経外科	頭痛、統合失調症
精神科	自閉症スペクトラム症候群、ADHD、被虐待児症候群、睡眠障害
婦人科	月経困難症
感覚器科	鼻咽腔閉鎖不全症 ピエールロバンシークエンス

(8) 義務教育等修了児童の進路状況

広島修道院

性別	年齢	修了機関	進路	名称	学科	備考
男	18	広陵高校	進学	関西国際大学	心理学部災害心理科	自立
男	18	広島国際学院高校	進学	ヒューマンアカデミー総合 専門学校 広島校	マンガ・イラストカ レッジ	自立
女	18	県立可部高校	就職	株式会社 ENEOS ウィン グ中国支店		自立
男	18	瀬戸内高校	就職	有限会社 フォローアップ		自立
男	15	広島市立二葉中学校	進学	桜が丘高校	普通科	在籍
男	15	広島市立二葉中学校	進学	中川学園 広島総合教育専 門学校	文化・教養高等課程 普通科	在籍
女	15	広島市立二葉中学校	進学	皆実高校	普通科	在籍
女	15	広島市立二葉中学校	進学	皆実高校	衛生看護科	在籍
女	15	広島市立二葉中学校	進学	広島国際学院高校	総合進学コース	在籍

広島修道院きずなの家

性別	年齢	修了機関	進路	名称	学科	備考
女	17	瀬戸内高等学校	退学			家庭引取り
男	18	山陽高等学校	就職	有限会社 司建設興業		在籍
男	18	第一学院高校	進学	穴吹デザイン専門学校	マンガ・アニメーショ ン学科	家庭引取り
女	19	広島みらい創生高等学 校	未定			在籍
男	19	広島コンピュータ専門学 校	留年	広島コンピュータ専門学校	ビジュアルデザイン科 イラストコース	在籍

(9) 平成29年度～令和5年度までの保育園各年齢別初日在籍一覧表

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	平成29年度	6	9	9	9	9	12	12	12	12	12	12	12	126
	平成30年度	2	3	5	5	5	10	11	12	12	12	12	12	101
	令和元年度	6	8	9	9	9	9	9	9	9	9	12	12	110
	令和2年度	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	9	77
	令和3年度	3	6	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	95
	令和4年度	3	6	6	6	8	9	9	9	10	10	11	11	98
	令和5年度	3	5	5	6	8	7	10	10	10	10	11	11	96
1歳	平成29年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	平成30年度	16	16	16	16	16	16	16	16	18	18	18	18	200
	令和元年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	182
	令和2年度	15	14	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	172
	令和3年度	14	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	16	182
	令和4年度	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	15	179
	令和5年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳	平成29年度	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	211
	平成30年度	13	13	13	13	13	15	15	16	16	16	16	16	175
	令和元年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和2年度	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	215
	令和3年度	15	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	208
	令和4年度	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	213
	令和5年度	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	205
3歳	平成29年度	15	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15	182
	平成30年度	18	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	233
	令和元年度	14	15	15	15	17	17	17	17	17	17	17	17	195
	令和2年度	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	210
	令和3年度	17	18	18	18	18	17	17	17	17	16	16	16	205
	令和4年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和5年度	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	211
4歳	平成29年度	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	15	14	172
	平成30年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	令和元年度	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
	令和2年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和3年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和4年度	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
	令和5年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
5歳	平成29年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	平成30年度	12	12	12	12	14	14	13	13	14	14	14	14	158
	令和元年度	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	188
	令和2年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	令和3年度	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
	令和4年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和5年度	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
合計	平成29年度	85	89	89	88	88	92	92	93	93	93	93	92	1,087
	平成30年度	76	79	81	81	83	90	90	91	94	94	94	94	1,047
	令和元年度	87	90	91	91	94	94	94	94	94	94	98	98	1,119
	令和2年度	93	94	94	94	94	94	93	93	93	94	97	97	1,130
	令和3年度	84	91	92	92	94	93	94	94	94	94	94	94	1,110
	令和4年度	87	91	91	91	93	94	94	93	95	95	95	95	1,114
	令和5年度	88	89	89	90	92	92	95	95	95	95	96	96	1,112

(10) 実施行事・日課の状況

① 実施行事 広島乳児院

月	行 事	内 容
4	花見遠足	コロナ感染防止を意識しつつ、各部屋でグランドの桜を見に行った。(4月5日)
5	子どもの日の集い	コロナ感染防止を意識しつつ、各部屋でこどもの日を祝う。こどもの日の由来を夕食時に聴いて行事食を頂く。(5月5日)
7	七夕	それぞれの部屋で七夕にまつわるお話を聞き、思いを込めて飾り作りを楽しむ。昼食時に行事食を頂く。(7月7日)
9	わんぱくまつり(夏祭り)	コロナ感染を意識して、院庭に手作りのゲーム・お店屋さんごっこを楽しみ、各部屋で行事食を食べる。(8月28日)
10	秋の遠足	コロナ感染防止のために中止
11	七五三	未就園児2名が着物姿で担当者と共に比治山神社へお参りする。 (11月2日)
12	クリスマス会(乳幼児)	各部屋でクリスマスのお話を聞き、クリスマス会を行い、サンタクロースからプレゼントをもらい、皆で楽しく会食する。(12月25日)
1	創立記念日	コロナ感染防止のために子ども参加は中止
2	節分	各部屋で節分にまつわるお話を聞き、子どもが鬼の面をつけて、豆まきを楽しむ。 (2月3日)
3	ひなまつり	それぞれの部屋で和服姿になり写真撮影 クラスでプチパーティーをし、女児の成長を祝う。(3月3日)
	お別れ遠足	マリーナホップに未就園児、幼児と共に出かけた。(3月13日)
	お別れ会	各部屋でお別れのパーティーをする。(3月26日)
備考	誕生日会	子どもの誕生月毎に、それぞれの部屋で祝う。

乳幼児ホームの日課

	AM										PM									
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
0 ヶ月 ～ 6 ヶ月		起床・更衣	自由遊び	検温	離乳食	自由遊び		自由遊び	離乳食	検温	沐浴	授乳	自由遊び	更衣・就寝						
	(授乳、おしめ換えは随時行なう)																			
7 ヶ月 ～ 12 ヶ月		起床・更衣	朝食	検温	自由遊び	午睡				検温	午睡	自由遊び	夕食	入浴	更衣・就寝					
	(授乳、おしめ換えは必要に応じて行なう)																			
13 ヶ月 ～ 4 歳児		起床洗面・更衣	朝食		横割保育	自由遊び	昼食		午睡		おやつ	自由遊び	夕食	入浴	更衣・就寝					
	(基本的生活習慣の発達を援助する)																			

② 実施行事 広島修道院

月	行 事	内 容
4	入園式 入学式 就任者研修(小、中学校) 安全委員会記念集会	的場幼稚園に2名入園 小学校へ4名、中学校へ2名、高等学校1名、各入学 就任者研修・家庭訪問 ホールにて全児童参加
5	なかよし運動会 小中学校家庭訪問 プロ野球招待 GW 院外活動・外食 T ボール体験会 OB 会	プログラムを変えて午前のみ実施 実施 新星工業社様招待行事 雨天の中熱心に観戦する。 ホーム毎の活動を実施 T ボール連盟より招待 マツダスタジアムにて。 ボーリング大会を実施
6	稲荷祭 中学校体育祭 各高校体育祭 プロ野球招待	久しぶりに実施。浴衣や甚平を着て楽しむ。 学年別の競技実施の形で実施 各高校の判断により、実施 カープの試合を観戦
7	七夕の会 夏季学習(小学生) 子ども会映画会 矢賀幼稚園夏祭り 吉和キャンプ 中央公園ファミリープール	各ホームにてそうめん会食 小学校の先生が来院し、実施 あいあいプラザにて実施 矢賀幼稚園生参加 加茂先生別荘にてキャンプ実施 男女ホーム別に2回実施 適時実施 小学生を中心に遊泳
8	町内盆踊り OB 行事 ふれあいキャンプ 広島東急会映画招待 広養協親善なかよし球技大会 墓参り 夏休み院外活動 公文マラソン サマーパーティー 小学生 キャリア授業(企業見学)	児童、職員で参加。設営～準備も手伝う。 恐羅漢キャンプ場でBBQを実施 2泊3日、北広島の廃校施設で実施 109シネマズ招待 児童40名、職員8名参加 小学生ソフトボール大会実施 児童15名、職員5名参加 児童、職員で実相寺、光福寺に参拝 ホームごとに実施 小学生対象 雨天の為、講堂にて縁日形式で実施 東洋省力株式会社・シェラトンホテル 見学
9	尾長小学校体育参観日 中学生 キャリア授業(企業見学) プロ野球招待 K1(キックボクシング) 慰問	小学生児童参加 限定的に分散実施 体育参観日として。 可部自動車学校 見学 幼児を中心に観戦 近隣のジムから慰問受け。体操教室や簡単なパンチの練習など。
10	幼稚園運動会 尾長天満宮秋季大祭 中・各高文化祭 お月見お茶会 バスハイク(民生委員児童委員協 議会)	矢賀、的場。職員、保護者、関係者が応援する。 綱引き相撲個人戦に参加 和太鼓チーム鎮守の杜コンサート出演 お団子を作って楽しむ。 こころの里親出合いの集い。動物園を散策。児童30名参加
11	尾長ふれあいデー(日曜参観) あいあいプラザ祭 響 亥の子祭り 七五三 バルサン消毒	小学生、保護者が参加 和太鼓演奏で出演 宮島 しゃもじ・もみじ饅頭作り・水族館散策 町内を練り歩き、餅つき 尾長天満宮に年中男児2名小学1年女児2名が参拝
12	クリスマス会(町内子ども会) 院内餅つき	大雪だったが、体育館で実施 児童・職員・OBらと交流

	町内大掃除 院内大掃除 広島ドリミネーション鑑賞	大雪で中止 各ホーム担当を決め、大掃除をする。 各ホーム平和大通りのイルミネーション鑑賞
1	初詣 院外活動 創立記念式典 とんど祭り 矢賀フェスタ	近隣の神社にお参りする。 学年ごとに分かれて実施 久しぶりに児童も参加 久しぶりに餅や豚汁の振る舞いあり 矢賀幼稚園関係児童が参加
2	節分企画 恐羅漢スノーパーク招待	節分行事を楽しむ。鬼が各ホームを回る。 スキー・スノーボード招待 児童12名、職員3名参加
3	百人一首大会 卒業(園)式 卒業を祝う会 院外活動 公文シュークリームのお会	児童8チーム参加 余暇係担当 的場幼稚園1名、矢賀幼稚園3名、小学生6名、高校生4名それぞれ卒業 卒園・卒業生を祝う会を実施。夕食祝いメニューで祝う。 ホーム単位でお別れ会を兼ね外食へ行く。 児童の公文式学習の学習進度を評価し祝う。

その他定期行事

毎月 (適時)	防火訓練(総合訓練、消火訓練、夜間訓練等) 身体測定 誕生日会(誕生日に各ホームで実施) 各ホームお祝い会実施。 公文学習会(小、算数を指導)週3日実施 安全委員会 応援委員会 性教育 年代別に実施 個別心理面接(心理士) 小学生キャリア学習 子どもの権利条約ワークショップ 個別聞き取り(西部、市) インフルエンザ予防接種 日本脳炎予防接種 新型コロナウイルスワクチン(適宜)	理髪奉仕ボランティア 和太鼓練習 田中学習会(塾) 啓誠塾・5days(塾) スマイルクラブ	職員会議 ケース会議 児童ホーム主任会議 各係・ホームの連絡会 広養協各会議等 給食会議 心理療法士との連絡会 小学校との連絡会 尾長小協力者会議 中学校との連絡会 各校授業参観 町内組長会議 尾長社協定例会 子ども会各部会 あいさつ運動(小、中)
毎週	嘱託医来診(毎週木曜日)		

児童ホームの日課

		AM											PM																					
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11															
平日	+																																	
	-		起床・洗面	朝食	登校			降園	降園	間食	下校	下校		夕食準備	夕食	自由時間・学習	歯磨	就寝	就寝															
		入浴：幼児小学生 16:00～17:30 中高生 18:00～22:00 まで																																
休日	+																																	
	-		起床・洗面	朝食	学習			昼食	自由時間		間食	自由時間			夕食	自由時間・学習		就寝	就寝															
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%; border: none;">起床時間</td> <td style="border: none;"> <table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">平日</td> <td style="border: none;">AM 7:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">休日</td> <td style="border: none;">AM 8:00</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 15%; border: none;">就寝時間</td> <td style="border: none;"> <table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">幼児・小学生</td> <td style="border: none;">PM 8:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中学生</td> <td style="border: none;">PM 10:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">高校生</td> <td style="border: none;">PM 11:00</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>																			起床時間	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">平日</td> <td style="border: none;">AM 7:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">休日</td> <td style="border: none;">AM 8:00</td> </tr> </table>	平日	AM 7:00	休日	AM 8:00	就寝時間	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">幼児・小学生</td> <td style="border: none;">PM 8:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中学生</td> <td style="border: none;">PM 10:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">高校生</td> <td style="border: none;">PM 11:00</td> </tr> </table>	幼児・小学生	PM 8:00	中学生	PM 10:00	高校生	PM 11:00
起床時間	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">平日</td> <td style="border: none;">AM 7:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">休日</td> <td style="border: none;">AM 8:00</td> </tr> </table>	平日	AM 7:00	休日	AM 8:00	就寝時間	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">幼児・小学生</td> <td style="border: none;">PM 8:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中学生</td> <td style="border: none;">PM 10:00</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">高校生</td> <td style="border: none;">PM 11:00</td> </tr> </table>	幼児・小学生	PM 8:00	中学生	PM 10:00	高校生	PM 11:00																					
平日	AM 7:00																																	
休日	AM 8:00																																	
幼児・小学生	PM 8:00																																	
中学生	PM 10:00																																	
高校生	PM 11:00																																	

児童ホームの年中及び年長児（5～6歳児）は的場幼稚園、矢賀幼稚園に通園し保育を受ける。
 年少児（2～4歳児）の保育は乳幼児ホームの生活指導の中に組み入れて院内で行なう。幼稚園に2年間通園し地域への参加をより多く持つことで、社会性を養っていく。更に、保護者や里親さんとの関わりを多く持つことにより情緒の安定を図る。児童ホームは10グループの単位集団を形成し、基本には幼児、小中学生、高校生を分け横割り年齢構成として各ホームで担当職員と専任職員が生活支援にあたる（うち3ホームは中高生女子、小学生女子、縦割り男子の小規模グループケアホーム）。

③ 実施行事 広島修道院 きずなの家

月	行 事	内 容
4	<ul style="list-style-type: none"> ・春の会 ・安全委員会集会 (4/6) ・入学式高 (6.7日) ・二葉中就任者研修 (4/4) ・尾長小就任者研修 (4/6) ・入園式 (4/10) ・家庭訪問 (4/21) ・カープ野球招待 (4/23) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員、移動職員、移行児童等顔合わせ会として自己紹介と児童の良いところの表彰 ・今年度委員の紹介と安全・安心な生活を目指すことの確認の集い。男女児 14名参加 ・高等学校 (県工、安芸府中、翔洋) 男児 1名 女子 2名 入学 ・中学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 ・小学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 ・的場幼稚園入園式 ・小学校の各担任が来院され担当職員と懇談する。 ・マツダスタジアム VS 中日 男児 4名 女児 1名参加
5	<ul style="list-style-type: none"> ・院外活動 (5/4) ・院外活動 (5/5) ・サンフレッチェサッカー招待 (5/7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋単位で活動 みのりチューピーアスレチック他 外食を楽しむ。男児 7名 ・あゆみ映画鑑賞、買い物 夕食デリバリー購入し食事を楽しむ 女児 6名参加 ・のぞみ、外食としてデリバリー購入し部屋で食事を楽しむ。女児 5名参加 ・エディオンスタジアム VS アビスパ福岡 男児 3名参加
6	<ul style="list-style-type: none"> ・第 69 回児童福祉施設親善 なかよし運動会 6/4 ・尾長学区子ども会 T ボール大会 6/24 ・SST [いっぼ] ①②6/25 ・丸山子ども会新入生歓迎会 	<ul style="list-style-type: none"> ・阿品台東小学校にて各施設が集い運動会を開催 男児 6名・女児 5名参加 ・T ボール参加 男児 3名、女児 3名参加 ・ガーデンパレス 開校式・第 1 回ビジネスマナー・第 2 回テーブルマナー講習 高校生男児 2名 女児 3名 ・修道院講堂で新入生を歓迎してゲームをする。・男児 3名・女児 3名参加
7	<ul style="list-style-type: none"> ・きずなの家七夕会 7/8 ・町内清掃 7/16 ・SST [いっぼ] 7/23③④ ・尾長学区子ども会映画鑑賞会 7/23 ・ラジオ体操開始(7/24～8/4) ・夏季学習 (小学生) (7/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・短冊に願い事を書き、笹に飾る。各部屋で食事 ・町内清掃 (草取り等) 小学生参加男児 3名参加 ・広島ガーデンパレス 第 3 回「働く前に知っておくこと」第 4 回「話し方教室」 男児 2名女児 1名参加 ・あいあいプラザに「2 分の 1 の魔法」を鑑賞男児 3名女児 2名参加 ・修道院、きずな合同の事務所前でラジオ体操をする。 年長 1名小学生男児 3名女児 3名参加 ・尾長小学校教師が来院し学年別に学習指導を実施後遊び。小学生男児 3名女児 3名参加
8	<ul style="list-style-type: none"> ・町内盆踊り大会 8/5 ・早朝避難訓練 (8/8) ・墓参り 8/14・ ・サマーパーティー (8/23) ・広養なかよし球技大会 8/26 ・SST 「いっぼ」 (8/27) ・院外 (活動) ・公文マラソン (8/23) 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾長公園で地域の盆踊り大会に参加 男児 6名、女児 6名参加 ・法人全体で 5 時半から火災避難訓練男児 6名 女児 9名参加 ・児童、職員で実相時、光福寺に参拝 みのり男児 3名 ・児童ホームと共同開催、講堂にてゲーム他、夏休みにかけて個々の頑張りを評価し表彰する。 ・小学生ソフトボール大会を児童ホーム合同チームで参加 (新生学園) 男児 1名参加 ・広島ガーデンパレスにて第 5 回「若者への法律教室」第 6 回「雇用主の話」 高校生女児 1名参加 ①のぞみの部屋 8/13・8/17 チューピープール小学生女児 4名 8/16 映画高校女児 2名参加 ②あゆみの部屋 8/5、外食 6名 ③みのりの部屋・8/2 ラウンドワン高校生 3名参加 ・8/3 チューピープール 幼児・小学生男子 4名、高校生 1名参加 ・本園と合同で公文学習を実施 男児 4名・女児 3名参加
9	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の会 9/1 ・なかよし球技大会 9/10 ・SST 「いっぼ」 (9/24) ・小学校運動会 (9/30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・きずな裏にて夏休みの頑張りを表彰 ・児童養護施設軟式野球大会参加 新生学園 高校生男児 1名参加 ・広島ガーデンパレスにて第 7 回「悪徳商法被害セミナー」第 8 回「身だしなみセミナー」 男子高校生 1名・女子高校生 3名参加 ・小学校で運動会 小学生男 3名、女児 2名参加
10	<ul style="list-style-type: none"> ・矢賀・的場幼稚園運動会 (10/8) ・安芸府中高校修学旅行 ・尾長学区子ども会スポレク大会 ・尾長天満宮子ども神輿・綱引き ・鎮守の森コンサート (10/22) ・のぞみ院外活動 (10/20) ・小 5 野外活動 (10/27.28) ・電力総連「響」10/28 	<ul style="list-style-type: none"> ・10/8 矢賀年長児 2名参加 ・10/10 的場女児 2名参加 ・10/18-20 東京ディズニーランド他 高 2 女児 1名参加 ・尾長小学校でスポーツレクリエーション 男児 3名、女児 3名参加 ・10/21 子ども神輿・綱引き相撲大会 男児 3名参加 女児 3名参加 ・尾長天満宮で和太鼓演奏 女児 2名参加 ・プリキュアステージ (上野学園ホール) 幼児女児 3名参加 ・安佐北区野外活動センター 男児 1名・女児 1名参加 ・電力総連さんの招待で宮島伝統産業会館にてしゃもじ作り、もみじ饅頭づくり等の体験をす

	<ul style="list-style-type: none"> ・SST 「いっぽ」 (10/29) 	<ul style="list-style-type: none"> る。小学生男児1名、女児2名参加 ・第9回「携帯電話の安全教室」・第10回「薬育」体調不良のため児童不参加
11	<ul style="list-style-type: none"> ・食事招待(鎌倉パスタ) 11/6 ・七五三参拝 11/11 ・尾長地区亥の子祭り 11/19 ・こころの里親出合いの集い 11/25 ・SST 「いっぽ」 (11/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉パスタアルパーク店の招待で食事を楽しむ。小学生男児3名、女児3名参加 ・比治山神社にて七五三参拝 小1女児1名・年中女児1名参加 ・亥の子祭りにて6年生は鬼役、5年生以下は亥の子槌について尾長地区を回った。小学生男児2名、女児2名 年長児3名参加 ・ふれあい里親さんとバスハイク(安佐動物園)小学生4名参加 ・第11回「金融教育」第12回「テーブルマナー」・閉校式 高校生男児3名、高校生女子2名参加
12	<ul style="list-style-type: none"> ・広養協なかよし球技大会 12/2 ・オペラ鑑賞(10) ・尾長学区クリスマス祭り(18) ・クリスマスパーティー(24) ・院外活動あゆみ(26) ・餅つき(27) ・大掃除(27) ・院外活動のぞみ(29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・警固屋体育館 女子卓球大会参加 高校生女子1名、小学生女児1名参加 高校生女児は優勝した。 ・JMS アステールプラザで「森は生きている」のオペラ鑑賞で芸術に触れる。 小学生女児2名参加 ・小学校でゲームやキャンドルサービスを楽しむ。小学生男児3名、女児3名参加 ・部屋ごとの開催、きずな裏庭にてビンゴでプレゼント交換をして楽しむ。 ・広島ドリミネーションを観て街を散策。女児6名参加 ・児童、職員で正月用の餅についてその場で食べたりして楽しむ。 ・部屋ごとに大掃除をする。 ・マリナーナホップにて水族館、遊園地で遊び外食をして楽しむ。女児5名参加
1	<ul style="list-style-type: none"> ・院外活動(1/1.~5) ・創立記念式典(6) ・尾長地区とんど祭り(13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・4日外食・映画 みのり 5日あゆみ ・式典後、当時を偲んで麦飯とスイトンを食べる。男児5名・女児8名参加 ・尾長小学校にてとんど祭りを開催 幼児男女児4名、小学生男女児6名参加
2	<ul style="list-style-type: none"> ・節分豆まき 2/3 ・着物の会 	<ul style="list-style-type: none"> ・きずな裏で幼児、小学生対象に職員が鬼に扮して豆まきを実施 ・着物を着て、縮景園散策と食事会をする。高3生女児1名参加
3	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高校各卒業式 ・食事会 3/2.20 ・民生委員さんとの交流会 9 ・丸山子ども会お別れ遠足 10 ・院外活動(16.17..21.) ・卒業・卒園を祝う会(23) ・公文シュークリーム会(25) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(18) 小学1名、(12) 中学校2名、(8) 高校2名が卒業する。(国際1・市工.3) ・3/2 みのりで卒業生含め食事会をする。男児7名参加 3/20 あゆみ ・あいあいプラザで交流会 調理・お菓子作り女児3名参加 ・宮島水族館・もみじ饅頭作り体験等 6年生男児1名参加 ・(のぞみ21) 女児4名 (みのりキャンプ16.17) 外食 男児7名参加 ・それぞれの卒業、巣立ちを祝う。 ・日頃の公文学習の成果を発表し頑張りを表彰する。男児4人 女児3人参加

その他定期行事

毎月 (適時)	<ul style="list-style-type: none"> 防火訓練(総合訓練、消火訓練、土砂災害訓練、夜間訓練等) 身体測定 誕生日会(誕生日に各部屋で実施) 公文学習会 週3日以上実施 安全委員会 個別聞き取り(西部、市) 	<ul style="list-style-type: none"> 和太鼓練習 サッカー教室 スイミングスクール 啓誠塾 絵画教室 そろばん教室 スマイルクラブ 	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議 ケース会議 部屋会議 主任・専門員会議 広養協各会議等 給食会議 小学校との連絡会 中学校との連絡会 各校授業参観 PTC 子ども会各部会 あいさつ運動(小、中)
毎週	嘱託医来診(毎週木曜日)		

きずなの家は家庭的養育を標榜しているため、時間で区切った明確な日課の設定はしていません。部屋ごとに、子どもの年齢構成、状況に応じて、健康に留意し、社会通念から逸脱しない基本的な生活リズムを守ることを念頭に生活を送っております。

④ 実施行事 広島修道院保育園

広島修道院保育園		
月	年間行事	内 容
4	はじまりの会	・一つ大きくなったことを子ども、職員で祝い新年度をスタートした。
	空組クラス懇談会・交流会	・保護者同士も交流しながら、今年度の保育の目標等について伝えることができた。
5	月組・星組・きりん組 ・うさぎ組 クラス交流会・懇談会	・保護者の参加は、一名に限定したが、年齢の発達や今年度の保育の目標について伝え、保護者同士も交流することができた。
	卒園児交流会	・卒園児が植えたジャガイモを収穫し、近況報告など交流を楽しんだ。
6	ひよこ組クラス交流会・ 懇談会	・保護者の参加は、一名に限定したが、年齢の発達や今年度の保育の目標について伝え、保護者同士も交流することができた。
	歯科検診・定期健康診断	・子どもたちの健やかな成長を見守るために実施
7	たなばた	・七夕の由来について知ると共に、宇宙へ興味が広がった。
	プールびらき	・コロナ感染対策を十分に行い、夏のプール遊びが充実するようになされた。
	おとまり保育	・保育園で一泊し、色々な体験を通して、自主性・社会性・協力することの大切さを学んだ。
8	クラス参観	・各クラス3日間ずつ、夏のあそびやプールあそびの様子を見てもらうことができた。
	なつまつり	・ゲームのコーナーを中心に一堂に会して開催でき、親子での楽しい時間を作ることができた。
9	お父さん保育応援日	・園庭・プール掃除・畑の草取りとお父さんに保育環境整備に貢献して頂いた。
10	うんどうかい	・子どもたちの成長を保護者と共に共有する場となった。
11	秋の遠足・散歩	・秋の自然を味わいながら、しっかりと歩いて全身運動としても保障できた。
12	25周年を祝う会	・記念冊子を作成し、園歌をつくり、神楽の演舞などで楽しい催しを企画し、25周年を祝うことができた。
	クリスマス会	・サンタクロースという夢の世界を広げ、楽しむことができた。
	もちつき	・4年ぶりにもちつきを保護者の協力を得て開催し、日本の風習に触れることができた。
1	空組クラス交流会	・子どもたちの手作りすごろくで遊びなど、園での子どもたちの様子を見て頂くことができ良かった。
2	節分会	・節分の由来を知り、日本の伝統行事を子どもなりに理解することにつながった。
	星組クラス交流会	・楽器あそびなど子どもの成長を保護者と共有し、親子での交流の場となった。
3	ひなまつり会	・ひなまつりの由来を知り、日本の伝統行事を子どもなりに理解し、楽しんだ。
	卒園式 はっぴょうのかい	・年中児も参加し、年長の卒園を共に祝う事ができた。 ・年中は、一年間取り組んできたことや得意なこと、年長はクラスで話し合っスイミーのペーパーサートを裏方も含めクラス成長したことを保護者と喜び合うことができた。
	おわりの会	・大きくなった自信を胸に、進級することを楽しみにすることができた。

健康支援	・園医による内科健診年2回・歯科検診1回を行った。	
環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の清掃、消毒、安全管理及び月1回の自主点検 ・年1回の害虫駆除と大掃除	
安全対策 事故防止	・災害を想定して訓練をした。火事(毎月)、地震(年3回)、不審者(年2回)、プール遊び時に水難訓練1回、SIDS 対応訓練(4回)、土砂災害避難訓練(2回) ・交通安全の日…毎月19日前後を交通安全の日として、保育園だよりや門に旗を立て呼びかけ、園児にも指導した。 ・園外保育、調理保育におけるマニュアルの周知	
保護者支援	・育児ノート、連絡帳、送迎時の対話、園内の掲示による連携・行事を保護者支援の視点でも行うよう配慮	
小学校との連携	・幼保小連携推進委員会・尾長小との交流会 ・保育所児童保育要録の送付	
地域支援	・「保育園で遊ぼう」「わかばパパ、ママ教室」の実施	
研修計画	・園外研修への計画的な参加ができた。 ・園内研修を行う。	自己評価 ・保育士の自己評価 ・保育所自己評価

広島修道院保育園の日課

	AM												
	7:30	8	9	10	11	12	PM						7
0歳・1歳・2歳児	順次登園 家庭との連絡・視診・検温		朝のつどい 排泄	朝のおやつ	クラス保育	昼食（離乳食） 排泄	午睡		目覚め おやつ（ミルク） 検温・排泄		あそび	順次降園 家庭との連絡	延長保育 18時30分～ 20時30分
3歳・4歳・5歳児	順次登園 家庭との連絡・視診		園庭あそび	朝のつどい	クラス別保育	昼食 昼食準備	午睡		おやつ 降園準備		帰りのつどい	あそび 順次降園 家庭との連絡	延長保育 18時30分～ 20時30分

4 相談事業の状況について

〔児童家庭支援センター わかくさ〕

相談日時 10時～19時（水曜日及び年末年始は閉所）電話にて24時間受付可
 相談員 主任相談員1名、相談員1名、心理療法等担当職員1名、児童等見守り担当職員1名
 広報 広島市から関係機関へチラシを配布
 特記事項 初年度の相談件数の目標を延べ2000件としている。児童相談所や福祉事務所からの紹介も多く
 いただいております、大幅に想定を上回った。

令和5年4月～令和6年3月 児童家庭支援センター運営事業実績報告書

県名： 広島県 センター名： 児童家庭支援センターわかぐさ

A 相談件数（個別相談・指導） ※設置運営要綱4－（1）（4）の一部等に該当

1 個別相談

(1) 月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入人数	54	20	25	29	14	23	21	24	13	9	25	14	271
継続相談人数	0	45	59	70	80	81	86	75	94	98	93	100	881
月別相談実人数	54	65	84	99	94	104	107	99	107	107	118	114	1152

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

(2) 月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	158	260	291	302	271	305	281	383	327	331	401	391	3701
来所相談	10	19	36	55	54	55	36	58	49	49	58	81	560
訪問相談	78	85	99	91	105	163	182	143	215	206	201	264	1832
心理療法等	3	11	5	10	15	1	4	8	12	10	7	5	91
メール相談	15	24	14	11	17	18	6	10	10	16	27	44	212
手紙相談	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	264	399	446	469	462	542	509	602	613	612	694	785	6397

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のごと>

(3) 相談・指導内容の種別延件数

※（再）は再掲

養護 虐待（再）	保健	障害	非行	育成			いじめ	DV	その他	合計		
				性格行動	不登校	適性					しつけ	
4567	2799	13	17	1	481	533	103	661	0	6	15	6397

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

(4) 相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機 関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上本 人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
851	921	5	155	45	30	529	2209	0	1636	0	0	16	6397

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

B 児童相談所からの委託による指導

※設置運営要綱4－（3）に該当

< 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑥ 実人数 0 人 <※委託を受けた人数>

< 指導内容の種別 >

養護 虐待（再）	保健	障害	非行	育成			いじめ	その他	合計
				性格行動	不登校	適性			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5 心理療法事業の状況について

目 的 心理療法を行う職員を配置し、虐待による心的外傷のため心理療法を必要とする児童に遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、児童の安心感・安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り心的外傷を治療することにより児童の自立を支援する。

○ 広島修道院

セラピスト 1名（児童養護施設 広島修道院）

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
 (2) 対象児童等に対する生活場面面接
 (3) 職員への助言及び指導
 (4) ケース会議への参加
 (5) その他
 ・対象児童等に対する心理検査の実施

事業開始日 平成 11 年 7 月 1 日

心理療法実施数等 (1) 実施児童数 14 名（児童養護施設 広島修道院）
 (2) 心理療法等の回数

内 容	回 数
	広島修道院
心理療法	209
心理検査	0
生活場面面接	適宜
施設職員等への助言及び指導	適宜
処遇検討会議への出席	30
その他	適宜
計	239

(3) 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	その他	計
3歳～学齢前	0	0	0	0	0	0	0
小学生	3	8	0	1	0	0	12
中学生	1	1	0	0	0	0	2
高校生	0	0	0	0	0	0	0
計	4	9	0	1	0	0	14

○ 広島修道院きずなの家

セラピスト 1名 (きずなの家)

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
 (2) 対象児童等に対する生活場面面接
 (3) 職員への助言及び指導
 (4) ケース会議への参加
 (5) その他
 ・対象児童等に対する心理検査の実施

事業開始日 平成26年4月1日

心理療法実施数等 (1) 実施児童数 10名
 (2) 心理療法等の回数

内 容	回 数
	きずなの家
心理療法	356
心理検査	1
生活場面面接	適宜
施設職員等への助言及び指導	適宜
処遇検討会議への出席	33
その他	適宜
計	390

(3) 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	その他	計
0～3歳未満	0	0	0	0	0	0	0
3歳～学齢前	0	1	0	0	0	2	3
小学生	1	1	0	0	0	4	6
中学生	1	0	0	0	0	0	1
高校生	0	0	0	0	0	0	0
計	2	2	0	0	0	6	10

(注) その他 養育困難

○広島乳児院

セラピスト 1名 (広島乳児院)

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
 (2) 対象児童等に対する生活場面面接
 (3) 施設職員への助言等
 (4) ケース会議への出席
 (5) その他

事業開始日 平成15年4月1日

心理療法実施数等 (1) 実施児童数 10名
 (2) 心理療法等の回数

内 容	回 数
	広島乳児院
心理療法	0
心理検査	0
生活場面面接	31
施設職員へ等への助言及び指導	適宜
処遇検討会議への出席	2
その他	適宜
計	33

(3) 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	その他	計
0歳児	0	0	0	0	0	0	0
1歳児	1	5	0	0	0	0	6
2歳児	0	4	0	0	0	0	4
3歳児	0	0	0	0	0	0	0
計	1	9	0	0	0	0	10

6 学習指導促進事業の状況について

① 広島修道院

区 分	内 容							
実施日	小学生 …………… ホーム毎に週3回 中学生男子 ……… 未実施 中学生女子 ……… 未実施							
学習指導時間	小学生 …………… 午後3時30分～午後5時30分							
年間指導回数	小学生 …………… 120回 (月12回×12か月) 中学生 …………… 通塾 男子 96～144回 " 女子 96～144回 合計192～288回 : 各ホームによって回数・実施曜日が違う。長期休みにも実施							
延べ対象児童数 *小学生公文年120回とする。	小学生	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計
		480	360	840	240	600	720	3240人 *前年3696人
	中学生	1年	2年	3年	小計	合 計		
		0	0	0	0	3240人		
指導科目	幼児 小学生 …………… 公文(算数)・その他 コグトレ*週1回幼児3名小学生8名実施 中学生 …………… 通塾・学校課題							
効果について	小学生の公文は全児対象 ホームによって成果のバラつきに対応する為、動機付けの方法を共有し、やり方の基本を周知したので、後半、学習量が安定した。中三男子の学校課題提出の指導が困難だった。認知強化トレーニング(コグトレ)を、週1～2回 1回30分を実施。日課として定着し、勉強が苦手な子ども、自分から進んで学びに行く様子が見られた。							

② きずなの家

区 分	内 容							
実施日	幼稚園児：①週3回 小学生：①毎週3回以上 中学生：なし 高校生：①毎週月曜日							
学習指導時間	幼稚園児：①週3回 (公文学習) 小学生：①各自帰院後(公文学習)(夕方) 中学生：対象児なし 高校生：①不定期 アフターケアひかり(越戸水月)							
年間指導回数	幼稚園児—187回(女児年長1名、途中入所1名)②53回(男児年長1名) 小学生—①871回(1年1名、2年1名、3年1名、5年2名、6年1名) 中学生—①男女(対象児なし) 高校生—①高1女 塾50回(毎週月曜日)							
延べ対象児童数	小学生	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計
		144	144	146	—	288	149	871
	高校生	1年	2年	3年	小計	合 計		
		50			50	921		
指導科目	小学生 …………… 算数(公文) 高校生 …………… 数学							
指導者名	小学生：①各担当職員 中学生：対象児なし							

	高校生：③学習塾（啓誠塾）
効果について	<ul style="list-style-type: none">・公文学習：子どもそれぞれの発達や特性を踏まえた進捗調整を行い、計算力を向上させた。・高校生1名は数学の学力向上になった。

7 退所児童自立相談事業の状況について

退所した者に対する相談や、児童の自立のための支援は児童養護施設の業務目的(児童福祉法第41条)とされています。平成26年度からは、広島市退所児童等アフターケア事業を業務委託しており、広島修道院、きずなの家、アフターケアひかりの職員が連携して退所児童や退所を控えた児童の自立にむけた相談・支援活動を行っています。

① 広島修道院

性別	年齢	相談支援回数	内 容
男	24	10	職場定着 生活の安定
男	20	10	近況確認
男	19	5	近況確認・手紙・寄せ書き郵送
女	18	3	進路相談・奨学金対応
男	22	3	近況確認
男	22	1	近況確認
男	20	3	障害者年金受給 必要書類作成
男	40	3	面会・裁判傍聴・
女	19	3	近況確認・就労定着支援
女	20	2	近況確認 生活の安定

② きずなの家

性別	年齢	相談支援回数	内 容
男	23	15	近況確認 生活の安定
男	33	6	近況確認 生活の安定 関係者会議
男	16	2	近況確認
女	18	20	近況確認 生活の安定
女	19	4	近況確認 生活の安定

③ アフターケアひかり

性別	年齢	相談支援回数	内 容
男	24	31	近況確認
男	35	35	近況確認 施設訪問
男	43	242	近況確認 食事会参加
女	24	3	引っ越し準備手伝い
男	23	19	奨学金対応 進路支援
男	19	1	近況確認
女	22	47	近況確認 生活の安定
女	35	14	買い物援助等
女	34	92	近況確認 関係者会議
男	20	41	金銭管理
女	22	1	近況確認
男	22	29	失業対応
女	24	2	近況確認
女	25	5	就労サポート 職場見学
女	18	5	進路相談
女	20	1	近況確認
女	38	24	近況確認 司法書士対応
女	23	2	食事会参加
女	24	6	生活の安定

女	26	8	近況確認
男	40	30	ステップハウス利用
男	42	9	近況確認
女	21	5	奨学金対応
男	29	9	出産手続き等の手続き支援
女	28	3	司法書士対応
男	24	12	近況確認 食料提供
女	27	2	近況確認
女	23	3	近況確認
男	25	5	ステップハウス利用
女	25	5	近況確認
男	22	26	行政手続き同行
女	24	2	近況確認
女	19	7	近況確認
女	22	39	就職サポート
女	27	4	近況確認
男	24	3	就労相談
女	20	2	近況確認 生活の安定
女	33	1	近況確認
女	19	3	近況確認 家庭訪問

8 各種保育事業の状況について

① 障害児保育事業

5歳児クラス 療育手帳B 加配職員を配置し、統合保育を行う。

4歳児クラス 療育手帳OB 6H加配職員を配置し、統合保育を行う。

② 延長保育事業 18:30～20:30

(保護者の就労形態の多様化、通勤時間の延長に対する需要に対応するための実施)

延長保育の定員 19:30まで15名、20:30まで8名

延長保育利用児 1時間利用4名、2時間利用の登録者0

(中途の利用・中止児も含む)

※R6年度より 延長保育時間 19:30まで

③ きんさいみんなの保育園事業 (保育所地域活動事業の実施)

・異年齢児交流等事業

(在園児、卒園児、地域の子ども達との幅広い年齢層での関わりの中で日頃の活動では味わえない感情や社会性を養う。)

・育児・子育て支援事業

(子育てと仕事の両立を図る保護者や地域の子育て家庭へ支援の場とする。)

在園児の保護者対象 年1回の育児講座、

地域の子育て家庭対象、年3回の育児講座、 年10回の「保育園で遊ぼう」

コロナウィルス感染症が5類に移行し、状況をみながら実施

9 職員の状況について

(1) 職員配置（令和6年3月31日現在）

① 広島修道院

施設長	個別・家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	1	1	37	3	2	2	4	13	1	65

② 広島修道院きずなの家

施設長	個別・家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	2	1	14	1	0	0	4	5	(1)	28

③ 広島乳児院

施設長	個別・家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	1	1	31	1	6	4	1	7	1	54

④ 広島修道院保育園

施設長	保育士	事務員	調理員等	合計
1	22	1	3	27

⑤ 児童家庭支援センターわかくさ

施設長	相談・支援担当	心理療法担当	合計
(1)	3	1	4

⑥ 法人本部 役員1名

役員・職員数 178名(うち正職員121名、非常勤職員17名、パート・嘱託職員38名、嘱託医2名)

(2) 処遇の改善

① 健康管理の促進

ア 定期健康診断の充実を図った。

イ 精密検査（人間ドック）の推進を図った。

広島県民間社会福祉事業従事者互助会との連携による衛生検査の充実を図った。

ウ 産業医と共に衛生委員会の継続開催により健康管理の体制を整備した。

② 処遇改善手当の支給

給与規程等に基づき、広島市の交付要領に従い、対象職員へ支給した。

(3)-1 施設職員の研修状況等 (広島修道院)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会 (広島修道院) ○	4/28.5/26.6/22.7/20.8/25. 9/22.10/27.11/24.12/22.1/26.3/22 ケーススタディ加茂勉強会 全11回	6	[外] 加茂 陽 大下・中	施設長・保育士・児童指 導員
院内勉強会 (広島修道院) ○	7/3, 9/14, 11/30, 1/8 循環型人材育成研修 H研	6	[外] 岡本晴美 広島国際大学	施設長・保育士・児童指 導員
院内勉強会 広島修道院	6/1, 9/6, 12/12 循環型人材育成研修 S研	6	[外] 岡本晴美 広島国際大学	保育士・児童指導員
院内勉強会 広島修道院	5/11, 10/24, 1/18 循環型人材区政研修 1研	9	[外] 岡本晴美 広島国際大学	保育士・児童指導員
院内勉強会 広島修道院 ○	5/12.19, 6/9.16, 7/14.19, 8/9.17, 9/8.13, 10/13.18, 11/10.17, 12/8.15, 1/12.19, 2/9.16, 3/8.15 計22回 CSPグループFB(Web)	2	[外] 黒岡・中谷 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	保育士・児童指導員
院内勉強会 広島修道院 ○	5/10, 6/7, 7/12, 9/13, 11/15, 12/22, 1/22, 2/19, 3/15 全9回 CSP 合同SV(Web)	2	[外] 松本千賀子 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	施設長・保育士・児童指 導員
院内勉強会 広島修道院 ○	1/30 PCAGIP(ピカジップ)研修	6	[外] 稲吉 玲美 東京大学	施設長・保育士・児童指 導員
院内勉強会 広島修道院 ○	11/2.6.9.10.13 *いずれかの一日 ハラスメント防止・公益通報研修会	45	[内] 的場参事	施設長・保育士・児童指 導員
院内勉強会 広島修道院 ○	3/18 新任職員研修(全体) ビジネスマナー	5	[内] 中島理事長	保育士・児童指導員
院内勉強会 広島修道院	3/19.21.22.23 児童・きずな合同新任研修	9	[内] 院長・総主任 先輩職員	保育士・児童指導員
院内勉強会 広島修道院	全体会議 伝達研修(毎月) 研修報告・権利擁護・アドボケート	28	[内] 山村院長 研修参加職員	施設長・保育士・児童指 導員
院内勉強会 広島修道院				
院内勉強会 広島修道院				
院内勉強会 広島修道院				
院内勉強会 広島修道院				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
()	別紙		

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
里親制度研修講座 R05/05/11	公財)全国里親会他	広島市	新たな時代の社会的養育他	里親支援専門相談員	藤井
広養協第1回給食部会 R05/05/15	広島県児童養護施設協議会	広島市	各施設からの近況報告他	主任栄養士	泊野
第1回広養協幼児部会 R05/05/16	広島修道院	広島市	今年度事業計画、仲良し運動会幼児競技検討他	主任個別対応職員	宮崎
○ 山口県児童福祉安全委員会連絡協議会 新任職員等研 R05/05/24	山口県児童福祉安全委員会連絡協議会	山口県	講義「安全委員会活動を支えるために」他	副院長、保育士	兼光、藤岡、菊池
第1回広養協家庭・里親支援部会 R05/05/25	広島県児童養護施設協議会	広島市	近況報告他	里親支援専門相談員	藤井
第70回中国地区里親研修大会 R05/05/27 ~ R05/05/28	公財)全国里親会他	山口県	すべての子どもが“家庭”で暮らす社会の実現を	施設長、里親支援専門相談員	山村、藤井
広島県児童養護施設協議会新任職員研修会 R05/06/06	広島県児童養護施設協議会	広島県	児童養護施設職員の役割、立場を学習他	児童指導員	田中、西川
第1回こども支援部会 R05/06/16	広島県児童養護施設協議会	広島県	施設見学他	児童指導員	西川
CSP【幼児版】初級指導者養成講座 R05/06/16 ~ R05/06/27	(特非) com子育て環境デザインルーム	広島市	子ども望ましい行動を増やすための援助技術を実践的に学ぶ	保育士	杉本
第51回広養協キャンプ指導者研修 R05/06/26 ~ R05/06/27	広島県児童養護施設協議会	広島県	講習(総合キャンプ全般)他	児童指導員	田中
第3回防災研修 R05/06/27	広島市防火連絡協議会	広島市	災害や事故発生時に的確な行動をとれるようにする	保育士	藤岡
広島市社会福祉施設新任職員研修 R05/06/29	広島市社会福祉協議会	広島市	職場への理解・知識を深め職務遂行上の基礎知識を身につける	児童指導員	福田
○ 第60回中国地区児童養護施設研究協議会 R05/06/29 ~ R05/06/30	中国地区児童養護施設協議会	山口県	育ちと育てを紡ぐ〜子どもと繋がり続ける養育を考える〜	施設長、児童指導員	山村、櫻井
フォスリング・チェンジプログラム第14回ファシリテーター養成コース R05/07/03 ~ R05/07/11	一般社団法人無憂樹	東京都	里親のためのトレーニングプログラム	施設長	山村
第1回保健衛生部会 R05/07/04	広島県児童養護施設協議会	広島市	新型コロナウイルス感染症の対応、振り返り他	看護師、保育士	平垣内、大野
広島県臨床心理士会 全体研修会 R05/07/09	広島県臨床心理士会	広島市	講演「こころとからだに対する臨床心理支援」他	主任心理療法士	岡本
子どもアドボカシー基礎講座 R05/08/03 ~ R05/09/14	子どもアドボカシーセンター広島	広島市	子どもアドボカシーについて知ろう!	施設長	山村
福祉職の伝え方研修 R05/08/04	広島県社会福祉協議会	広島市	福祉職に必要なコミュニケーション術を確認する他	児童指導員、保育士、児童指導員	西川、塚迫、松本、梶岡
ボーイズタウン援助計画コーディネーター初級養成講座 R05/08/19	(特非) com子育て環境デザインルーム	広島市	具体的な援助計画策定の技術を学ぶ	児童指導員	山根
OJT推進研修 R05/08/24	広島県社会福祉協議会	広島市	福祉職場の人材育成(OJT)の意義、目的、重要性を学ぶ	児童指導員、保育士	西川、大野

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
ライフストーリーワーク ーシックセミナー R05/09/08	一般社団法人無憂樹	広島市	ライフストーリーワーク を基礎から学ぶ	心理療法士	武内
第18回西日本児童養護施設 職員セミナー京都大会 R05/09/12 ~ R05/09/14	近畿・中国地区・四国 ・九社連養協	京都府	これからの施設のあり 方を考える 他	総主任保育士、保育士	桑原、大野
第72回全国乳児院協議会 R05/10/05 ~ R05/10/06	全社協・全国乳児福祉 協議会	長崎県	すべての子どもの健や かな育ちのために	総主任児童指導員	大久保
発達障害コメディカル養成 研修 R05/10/06 ~ R05/10/13	広島県立障害者療育支 援センター	広島市	支援の見立てと連携～ 発達障害児の困り感の 解決策を探る～	主任心理療法士	岡本
福祉職員キャリアパス対応 生涯研修【中堅職員コー R05/10/10 ~ R05/10/11	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを描き 、期待に応える	保育士	宅間、島崎、菊池
監事が滞りなく仕事を実施 できるようにするための法 R05/10/17	(一社)全国福祉法人 協会	広島市	指導監査ガイドライン 他	事務局次長	木村
全国児童福祉安全委員会連 絡協議会第14回全国大会(R05/10/26 ~ R05/10/27	全国児童福祉安全委員 会連絡協議会	北海道	「安全委員会方式を理 論と実践から学ぶ」	保育士、児童指導員	渡辺、山根
施設見学 R05/10/27	広島修道院	大阪府	高鷲学園里親支援機関 with里親	施設長	山村
第68回全国里親大会近畿地 区里親研修会兵庫大会 R05/10/28 ~ R05/10/29	公財)全国里親会他	兵庫県	いっしょに歩こ希望の 架け橋こどもの未来へ	里親支援専門相談員、 施設長	藤井、山村
○ 第76回全国児童養護施設長 研究協議会(兵庫大会) R05/11/06 ~ R05/11/08	全国児童養護施設協議 会	兵庫県	子どもを主体とした養 育の社会化をめざして	施設長、総主任保育士 、主任個別対応職員	山村、桑原、宮崎
第5回中国四国地区乳児院 看護師研修会 R05/11/16 ~ R05/11/17	中国・四国地区乳児院 協議会	鳥取県	感染症の対策や怪我の 予防と対策他	看護師	小川
臨床心理相談センター研修 会 R05/11/18	広島修道大学	広島市	イメージの心理療法	主任心理療法士	岡本
福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程【チームリー R05/11/20 ~ R05/11/21	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを描き 、期待に応える	保育士、児童指導員	有家、櫻井、山根
職業紹介責任者講習 R05/11/28	(公社)全国民営職業 紹介事業協会	大阪府	民営職業紹介事業制度 の概要について他	総主任児童指導員	山根
第64回大都市社会福祉施設 協議会 R05/11/28	大都市社会福祉施設協 議会	広島市	社会福祉施設に期待さ れる役割～新たな福祉 ニーズへの対応～	総主任児童指導員、施 設長	大久保、山村
地域社会交流促進研修会 R05/11/30	広島県精神保健福祉協 会	広島市	精神障害をもつ人のリ カバリー	主任心理療法士	岡本
社会的養育における自立支 援と退所後ケア R05/11/30 ~ R05/12/01	あすなろ連絡会・千児 協職業指導員部会・東 社協児童部会自立支援	千葉県	これまでの実践、思い をひろげる	総主任児童指導員	山根
困難を抱える子ども・若者 を支援するSELによる非認 R05/12/01	広島県子ども・若者支 援協議会	広島市	SEL(社会性と情動の学 習)実践のための基本 的な知識と指導法	主任心理療法士	岡本
ボーイズタウン援助計画コ ーディネーター初級養成講 R05/12/09	(特非) com子育て環 境デザインルーム	広島市	具体的な援助計画策定 の技術を学ぶ	児童指導員	西見
第3回広養協心理ケア部会 R05/12/14	広島県児童養護施設協 議会	広島市	各施設からの共有・相 談事項他	心理療法士	武内

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
第11回全国LSW実践・研究交流会 R05/12/16 ~ R05/12/17	第11回LSW実践・研究交流会実行委員会	広島市	ライフストーリーワークの実践報告	施設長、副院長、里親支援専門相談員	山村、兼光、藤井
職業紹介責任者講習 R05/12/18	(公社)全国民営職業紹介事業協会	広島市	民営職業紹介事業制度の概要について他	児童指導員	上田
広養協第5回調査研究委員会 R06/01/12	広島県児童養護施設協議会	広島市	中堅職員研修会最終打合せ他	児童指導員	田中
第4回広養協心理ケア部会 R06/01/18	広島県児童養護施設協議会	広島市	情報共有他	心理療法士	武内
里親養育包括支援機関人材養成プログラム R06/01/25 ~ R06/01/26	日本福祉大学リカレント教育事業部	福岡県	子どもの権利と心身の発達他	里親支援専門相談員	藤井
第2回保健衛生部会 R06/01/26	広島県児童養護施設協議会	広島市	発達障がいや対応困難な子どもをどのように支援養育していくか	保育士	塚迫
コグトレ・トレーナー養成ワークショップ(初級コース) R06/01/27	一般社団法人日本COG-TR学会	大阪府	認知機能強化トレーニングの体験他	児童指導員	上岡
里親家庭・児童養護施設経験者が語る子どもアドボカシーセンター広島 R06/01/27	子どもアドボカシーセンター広島	広島市	意見表明等支援事業(アドボケイト)の必要性とは	保育士、児童指導員	菊池、杉本、西見
ライフストーリーワーク基礎編セミナー R06/01/31	一般社団法人無憂樹	広島市	講義とワークを通してライフストーリーワークを基礎から学ぶ	事務員	矢原
LITALICO社会的養育フォーラム R06/02/01	株LITALICO	広島市	社会的養育を必要とする子どもたちの現状とこれからのあり方	里親支援専門相談員	藤井
広養協第2回給食部会 R06/02/01	広島県児童養護施設協議会	広島市	各施設の取り組みについて他	主任栄養士、栄養士	泊野、西村
職場研修担当者研修 R06/02/06	広島県社会福祉協議会	広島市	職員がともに育つ職場研修づくりを学ぶ	総主任児童指導員	大久保
広養協調研中堅職員研修会 R06/02/07	広島県児童養護施設協議会	広島市	職員の資質、養育能力の向上	施設長、心理療法士、保育士、主任保育士、保育士、児童指導員、	山村、武内、吉崎、山根、杉本、渡辺、田中、藤井
中国地区児童養護施設長研修会 R06/02/09	中国地区児童養護施設協議会	山口県	施設は「どう変わり」、私たちは「何ができるか」	施設長	山村
○ 広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ R06/02/10	広島県精神保健福祉協会	広島市	発達や愛着の問題を抱える子どもの理解と支援	施設長	山村
第3回フォローアップミーティング R06/02/13	一般社団法人無憂樹	広島市	FCPの実施、状況報告	里親支援専門相談員	藤井
第3回こども支援部会 R06/02/22	広島県児童養護施設協議会	広島県	施設職員のメンタルケアのために	保育士	島崎
第12回乳児院上級職員セミナー R06/02/27 ~ R06/02/28	全社協・全国乳児福祉協議会	東京都	専門的知識の習得、チリターとしての資質向上	保育士	沖
里親養育包括支援機関人材養成プログラムスペシャルフォーラム R06/02/15	日本福祉大学リカレント教育事業部	大阪府	こども”ど真ん中”未来へつなぐ	施設長	山村
生活の中のライフストーリーワークセミナー R06/03/15	一般社団法人無憂樹	広島市	日常生活におけるLSWについて学び、実践を共有する	心理療法士	武内

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
研修企画担当者等養成研修 Ⅱ R06/03/15	西日本こども研修セン ターあかし	広島市	研修企画担当者の養成 ・効果的な研修実施に 向けて	事務員	矢原
広島県臨床心理士会 大学 ・研究所部会研修会 R06/03/23	広島県臨床心理士会	広島市	心理職とハラスメント	主任心理療法士	岡本
			「以下余白」		

(3)-2 施設職員の研修状況等 (広島修道院きずなの家)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院きずなの家

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	4/5,5/10,5/17,5/24, 6/7,6/14, 6/21 CSP 里親プログラム	1	[外] 松本 千賀子 Com子育て デザインルーム理事長	児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	R5.4/5, 6/7,7/5,1/16, 2/16 毎月第1水曜日 CSP 幹部FB	2	[外] 松本 千賀子 Com子育て デザインルーム理事長	施設長・保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	4/12～5/31毎水曜日 計7回 CSP 幼児版連続講座	2	[外] 黒岡・森本 Com子育て デザインルーム	保育士
院内勉強会 (広島修道院きずなの家)	①4/20, ②6/1, ③9/6,④12/12 計4回 循環型人材育成研修Smile(中堅編)	7	[外] 岡本 晴美 広島国大教授	保育士・児童指導員・心理士
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	R5.4/21～毎月第3金曜日 CSPグループFB	2	[外] 松本阿弓・東野 Com子育て デザインルーム	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家)	①4/27,②7/13,③9/14, ④11/30,⑤3/11 循環型人材育成研修Hold(リーダー編)	8	[外] 岡本 晴美 広島国大教授	施設長・保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	4/28,5/26,6/26,7/21,9/1,9/30, 11/ ,1/26, 2/16 CSP主任FB(テキストFB)(毎月第4金曜日)	3	[外] 松本阿弓・東野 Com子育て デザインルーム	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家)	①5/11,②9/21, ③10/24, ④1/18 循環型人材育成研修(Idea)	1	[外] 岡本 晴美 広島国大教授	保育士
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	①5/15,②6/13,③7/3,④9/20, ⑤11/17, ⑥1/23 ケース会議	15	[外] 加茂 陽 広島県立大学名誉教授	施設長・保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	①6/21,②6/9,③6/16,④6/23,⑤6/30,⑥7/7 計6回 CSP学齢期版連続講座 1グループ	5	[外] 松本阿弓・東野 Com子育て デザインルーム	保育士・児童指導員・心理士
院内勉強会 (広島修道院きずなの家)	R6.6.23 ライフストリートワーク	7	[外] 徳永祥子 立命館大学 衣笠総合研究機構	施設長・保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	①6/6,②6/13,③6/20,④6/27,⑤7/4,⑥7/11,⑦7/18 計7回 CSP学齢期版連続講座	1	[外] 松本阿弓・東野 Com子育て デザインルーム	施設長
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	①9/8,②9/15,③9/22,④9/29,⑤10/6,⑥10/13 計6回 CSP学齢期版連続講座 2グループ	4	[外] 松本阿弓・東野 Com子育て デザインルーム	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家)	①11/2 ②11/6 ③11/9 ④11/10 ⑤11/13 計5回 ハラスメント防止・公益通報研修会	16	[内] 的場参事	施設長・保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島修道院きずなの家) ○	①1/17, ②1/26, ③1/31, ④2/7, ⑤2/14, ⑥2/21, ⑦2/27 CSP幼児版連続講座 全7回	2	[外] 松本阿弓・東野 Com子育て デザインルーム	保育士・児童指導員

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
()	別紙		

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
山口県児童福祉安全委員会連絡協議会 新任職員等研 R05/05/24	山口県児童福祉安全委員会連絡協議会	山口県	講義「安全委員会活動を支えるために」他	施設長、児童指導員	前田、森田
広島県児童養護施設協議会 新任職員研修会 R05/06/06	広島県児童養護施設協議会	広島県	児童養護施設職員の役割、立場を学習他	児童指導員	森田
オンラインセミナー社会福祉法人会計「初級編」 R05/06/16	(公財) 公益法人協会	広島市	社会福祉法人会計の基礎	事務員	森本
第1回こども支援部会 R05/06/16	広島県児童養護施設協議会	広島県	施設見学他	児童指導員	森田
広島市社会福祉施設新任職員研修 R05/06/29	広島市社会福祉協議会	広島市	職場への理解・知識を深め職務遂行上の基礎知識を身につける	児童指導員	森田
○ 第60回中国地区児童養護施設研究協議会 R05/06/29 ~ R05/06/30	中国地区児童養護施設協議会	山口県	育ちと育てを紡ぐ〜子どもと繋がり続ける養育を考える〜	施設長、児童指導員、保育士	前田、武智、落畑
広島県臨床心理士会 全体研修会 R05/07/09	広島県臨床心理士会	広島市	講演「こころとからだに対する臨床心理支援」他	心理療法士	岡田
第18回西日本児童養護施設職員セミナー京都大会 R05/09/12 ~ R05/09/14	近畿・中国地区・四国・九社連養協	京都府	これからの施設のあり方を考える 他	児童指導員	田中
福祉職員キャリアパス対応生涯研修【中堅職員コース】 R05/10/10 ~ R05/10/11	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを描き、期待に応える	心理療法士	岡田
全国児童福祉安全委員会連絡協議会第14回全国大会 R05/10/26 ~ R05/10/27	全国児童福祉安全委員会連絡協議会	北海道	「安全委員会方式を理論と実践から学ぶ」	保育士、児童指導員	胤森、折田
第2回こども支援部会 R05/10/27	広島県児童養護施設協議会	広島県	施設職員のアドボカシー	保育士	大下
○ 第76回全国児童養護施設長研究協議会(兵庫大会) R05/11/06 ~ R05/11/08	全国児童養護施設協議会	兵庫県	子どもを主体とした養育の社会化をめざして	施設長	前田
第64回大都市社会福祉施設協議会 R05/11/28	大都市社会福祉施設協議会	広島市	社会福祉施設に期待される役割〜新たな福祉ニーズへの対応〜	施設長	前田
第16回消防訓練実務研修 R05/12/11	広島市防火連絡協議会	広島市	消防訓練に関する実務を習得する	事務員	森本
○ 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 R05/12/11 ~ R05/12/22	全国社会福祉協議会	広島市	専門性の向上を図る	施設長	前田
対人援助職のための傾聴技法研修 R05/12/15	広島県社会福祉協議会	広島市	よりよい支援のための話の受け止め方・伝え方	保育士	落畑
第11回全国LSW実践・研究交流会 R05/12/16 ~ R05/12/17	第11回LSW実践・研究交流会実行委員会	広島市	ライフストーリーワークの実践報告	心理療法士	岡田
広養協調研中堅職員研修会 R06/02/07	広島県児童養護施設協議会	広島市	職員の資質、養育能力の向上	主任個別対応職員、心理療法士、児童指導員、施設長	田島、岡田、折田、前田
○ 子どもと大人の絆を深めるプログラムに学ぶ心理支援 R06/02/18	(一社) 広島県公認心理師協会・広島県臨床心理士会	広島県	CARE専門家ワークショップとその活用	心理療法士	岡田
CSP【学齢期版】初級指導者養成講座 R06/02/28 ~ R06/02/29	(特非) com子育て環境デザインルーム	和歌山県	子どもの望ましい行動を増やすための援助技術を学ぶ	総主任児童指導員	中山

(3)-3 施設職員の研修状況等 (広島乳児院)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島乳児院

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会 (広島乳児院)	R5.6.12 講義「乳幼児のアセスメントについて」	15	[外] 黒崎充勇 精神科医(小児心療科)	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	R5.8.4 ○「子どもの権利条約を読んでみよう」	12	[外] 定者吉人 弁護士	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	R5.9.11 ケース検討会	19	[外] 黒崎充勇 精神科医(小児心療科)	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	R5.9.25 乳幼児救急法講習会	8	[外] 西村登勢 日本赤十字職員	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	R5.10.7 乳幼児期の食事と発達と言語の発達	16	[外] 言語聴覚士 河村 迅	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	R5.12.11 ケース検討会	15	[外] 黒崎充勇 精神科医(小児心療科)	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	R6.3.11 ケース検討会	26	[外] 黒崎充勇 精神科医(小児心療科)	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	R5.11.2、11.6、11.9、11.10、11.13 ハラスメント防止・公益通報研修会	40	[内] 的場参事	保育士・児童指導員
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
()	別紙		

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
里親制度研修講座 R05/05/11	公財)全国里親会他	広島市	新たな時代の社会的養育他	総主任保育士、里親支援専門相談員	藤本、竹内
○ 広島県児童福祉司任用前講習会 R05/05/15 ~ R05/10/26	広島県	広島市	行政権限の行使と司法手続他	保育士	宮本
第1回広養協家庭・里親支援部会 R05/05/25	広島県児童養護施設協議会	広島市	近況報告他	総主任保育士、里親支援専門相談員	藤本、竹内
第70回中国地区里親研修大会 R05/05/27 ~ R05/05/28	公財)全国里親会他	山口県	すべての子どもが“家庭”で暮らす社会の実現を	総主任保育士、里親支援専門相談員	藤本、竹内
心理職をとりまく法的問題の理解と対応 R05/05/28	こころの研修会うさぎのみみ	広島市	心理士に關係する法令等の理解	心理療法士	森田
広島市児童福祉連盟総会 R05/05/29	広島市社会福祉協議会	広島市	総会、行政との意見交換会他	施設長	横山
防災安全研修(入所2日) R05/05/30 ~ R05/05/31	広島県社会福祉協議会	広島市	もしもの災害から利用者・職員を守る	児童指導員	伊達
○ 乳児院職員指導者研修 R05/05/31 ~ R05/06/02	西日本こども研修センターあかし	兵庫県	乳児院における養育と家庭支援	主任児童指導員	藤田
第1回広島県養護施設協議会心理ケア部会 R05/06/15	広島県児童養護施設協議会	広島市	昨年度作成したリーフレット完成について他	心理療法士	森田
スーパービジョン研修会 R05/06/16 ~ R05/06/18	全社協・中央福祉学院	神奈川県	人の尊厳とスーパービジョン研修	家庭支援専門相談員	草地
福祉施設・事業所新卒採用者研修 R05/06/19	広島県社会福祉協議会	広島市	「福祉職として」「組織人として」の基本姿勢を学ぼう	保育士	中崎、阿黒、西田
○ 広島県基幹的職員研修 R05/06/20 ~ R05/12/29	広島県西部こども家庭センター	広島市	こどもの権利擁護に関すること他	児童指導員	片岡
フォスクリンク・ソーシャルワーク専門職講座(全8回) R05/07/02 ~ R06/01/28	立命館大学人間科学研究科	京都府	「育ての親という生き方」をささえる里親支援のスペシャリストに	里親支援専門相談員、総主任保育士	竹内、藤本
第66回全国乳児院研修会 R05/07/06 ~ R05/07/07	全社協・全国乳児福祉協議会	岐阜県	乳児院職員としての専門性を向上させること他	総主任保育士、主任保育士	藤本、大峠
○ 児童福祉施設心理担当職員合同研修 R05/07/13	子どもの虹情報研修センター	広島市	効果的な心理支援を提供する技能の向上を図る	心理療法士	森田
東区・安芸区合同給食施設従事者講習会 R05/09/01	広島市保健所	広島市	給食施設における調理の工夫について 他	栄養士	岡
広島県臨床心理士会 産業・組織部会研修 R05/09/02	広島県臨床心理士会	広島市	組織内から組織にかかわる 他	心理療法士	森田
対人援助職のストレスマネジメント研修 R05/09/11	広島県社会福祉協議会	広島市	心の免疫力を高めるワークショップ 他	主任個別対応職員	隅原
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 R05/09/13 ~ R05/09/14	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを描き、期待に応える	保育士	水橋
生活の中のライフストーリーワーク R05/09/15	一般社団法人無憂樹	広島市	ライフストーリーワークとは 他	保育士	恵木

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
社会福祉法人研修会 R05/09/28	日本公認会計士協会中国会・非営利法人委員会	広島市	社会福祉法人における指導監査について他	主任事務員	沖田
第2回広島県児童養護施設協議会心理ケア部会 R05/10/05	広島県児童養護施設協議会	広島市	情報共有他	心理療法士	森田
ライフストーリーワーク応用編セミナー R05/10/05 ~ R05/10/19	一般社団法人無憂樹	広島市	実践に活かせるライフストーリーワークを身につける	総主任保育士、里親支援専門相談員	藤本、竹内
第67回中国・四国地区乳児院研究協議会 R05/10/10 ~ R05/10/27	中国・四国地区乳児院協議会	広島市	乳児院の将来像に向けた専門性の再確認	施設長、看護師、保育士、看護師、児童指導員	横山、島本、山下、吉岡、町田
施設長研修会・会議 R05/10/26 ~ R05/10/27	中国・四国地区乳児院協議会	岡山県	乳幼児総合支援センターをめざして	施設長	横山
第68回全国里親大会近畿地区里親研修会兵庫大会 R05/10/28 ~ R05/10/29	公財)全国里親会他	兵庫県	いっしょに歩こう希望の架け橋こどもの未来へ	里親支援専門相談員、総主任保育士	竹内、藤本
中国四国地区乳児院栄養士研修会 R05/10/30	中国・四国地区乳児院協議会	広島市	「衛生管理について」情報交換他	主任栄養士	佐藤
第5回中国四国地区乳児院看護師研修会 R05/11/16 ~ R05/11/17	中国・四国地区乳児院協議会	鳥取県	感染症の対策や怪我の予防と対策他	看護師	島本
オーストラリアスタディーツアー R05/11/18 ~ R05/11/23	立命館大学人間科学研究所	オーストラリア	現地の里親支援団体視察他	総主任保育士、里親支援専門相談員	藤本、竹内
合同研修会 R05/11/26	(一社)広島県公認心理師協会・広島県臨床心理士会	広島市	組織内のハラスメント問題とその対策を考える	心理療法士	森田
○ 第3回学術集会 R05/12/02 ~ R05/12/03	日本乳幼児精神保健学会	神奈川県	乳幼児の心の育ちを乳幼児と家族の症例から学ぶ	保育士	山下、恵木
○ 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 R05/12/11 ~ R05/12/22	全国社会福祉協議会	広島市	専門性の向上を図る	施設長	横山
第3回広養協心理ケア部会 R05/12/14	広島県児童養護施設協議会	広島市	各施設からの共有・相談事項他	心理療法士	森田
第11回全国LSW実践・研究交流会 R05/12/16 ~ R05/12/17	第11回LSW実践・研究交流会実行委員会	広島市	ライフストーリーワークの実践報告	総主任保育士、里親支援専門相談員、保育士、児童指導員	藤本、竹内、恵木、眞鍋
リスクマネジメント研修【児童福祉施設・保育施設編】 R06/01/18	広島県社会福祉協議会	広島市	リスクの感度をあげ職員・利用者が安心できる施設・事業所へ	主任児童指導員	藤田
福祉施設・事業所のクレーム対応研修 R06/01/22 ~ R06/02/16	広島県社会福祉協議会	広島市	クレーム対応をよりよい施設・事業所づくりに活かす	保育士	大田
広島市児童相談所職員研修 R06/01/29	広島市児童相談所	広島市	職員の資質や専門性を高め、児童福祉の向上に繋げる	保育士	山下
第3回フォローアップミーティング R06/02/13	一般社団法人無憂樹	広島市	FCPの実施、状況報告	総主任保育士、保育士、里親支援専門相談員	藤本、大田、竹内
フォスタリング機関実践研修会 R06/02/16 ~ R06/02/17	NPO法人子ども家庭サポートセンターちば	千葉県	切れ目のない里親子支援に向けて	保育士	恵木
○ こども家庭センター等専門性強化研修 R06/02/21	広島県西部こども家庭センター	広島市	児童福祉施設におけるトラウマケア	保育士	平山

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
第2回里親委託推進委員会 R06/02/21	広島県西部子ども家庭センター・里親支援センターからふる	広島市	里親支援センターについて他	総主任保育士	藤本
中四国乳児院里親支援専門相談員のつどい R06/02/21 ～ R06/02/22	中国・四国地区乳児院協議会	広島市	情報交換、講義、施設見学他	保育士、児童指導員、総主任保育士	恵木、大田、眞鍋、藤本
児童養護施設等の高機能化・多機能化に向けた人材育成 R06/02/21 ～ R06/03/11	社会福祉法人山梨立正光生園	広島市	「地域の社会的養育を支える専門的な拠点」になるために	心理療法士	森田
里親養育包括支援機関人材養成プログラムスペシャルフォーラム R06/02/15	日本福祉大学リカレント教育事業部	大阪府	子ども”ど真ん中” 未来へつなぐ	里親支援専門相談員、総主任保育士	竹内、藤本
子ども家庭支援のネクストステージ R06/03/02	立命館大学人間科学研究所	京都府	子ども・家族を中心に据えた支援を考える	里親支援専門相談員、総主任保育士	竹内、藤本
			「以下余白」		

(3)-4 施設職員の研修状況等 (広島修道院保育園)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院保育園

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.4.21 ~ R6.1.30 集団づくりについて(8回)	37	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.7.6 救命救急講習	11	[外] 日本赤十字社 指導員 脇谷孔一	保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.6.8 ~ R5.11.15 自然保育について	17	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R6.1.23 1, 2歳の自我をにこにこ元気に育む	13	[外] 壇上由香	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.8.3 人権啓発勉強会	8	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.8.10 フォトレーター学習会	7	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.6.6 園庭環境	6	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.9.14 ○ 虐待勉強会	8	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.8.8 平和勉強会	9	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.11.2 ~ R5.11.13 ハラスメント防止・公益通報研修会	19	[内] 的場参事	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.5.6 ~ R5.9.26 室内環境について	16	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.5.15 ~ R5.10.25 食農について(2回)	9	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R5.11.25 リズムあそびについて	6	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R6.1.6 描画総括	6	[内] 副主任他	施設長・保育士
園内勉強会 (広島修道院保育園)	R6.3.4 「こどもんなか」社会と園の役割を考える	12	[外] 大豆生田 啓友 Zoomにて	施設長・保育士

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
()	別紙		

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
障害児保育研修（広島県指定キャリアアップ研修） R05/05/09 ～ R05/05/15	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	障害児保育の実施に必要な専門知識の習得・資質向上	保育士	宇野
第1回発達支援コーディネーター養成講座 R05/05/12	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	こどもの感覚と運動について他	保育士	福島
広島市私立保育協会定時社員総会 R05/05/31	広島市私立保育協会	広島市	行政説明、総会	施設長	平田
第62回全国保育問題研究集会 R05/06/03 ～ R05/06/04	全国保育問題研究協議会	広島市	命の守り手として生きる	保育士	宇野
第3回防災研修 R05/06/27	広島市防火連絡協議会	広島市	災害や事故発生時に的確な行動をとれるようにする	保育士	本島
第2回発達支援コーディネーター養成講座 R05/06/27	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	言語コミュニケーションの難しさを抱える児の理解と支援	保育士	福島
第1回広島市幼稚園教諭・保育士新規採用者合同研修 R05/07/05	広島市	広島市	幼児教育と保育の一体的な質の向上を図る	保育士	吉村、谷口
人権啓発講座（1回目） R05/07/14	広島市保育連盟	広島市	子どもたちの人権を大切にす関わりを学ぶ	保育士	田川
園長研修 R05/07/28	広島市私立保育協会	広島市	保育現場における組織マネジメントや子ども主体の保育の魅力を学ぶ	施設長	平田
HANAセミナー R05/07/29	HANA音楽研究所	広島市	オリジナル遊びうたを楽しもう！他	保育士	穴井
あそびと発達の講座 R05/08/04	広島市保育連盟	広島市	第一部 絵本の読み語り 他	保育士	有地
初級職員（造形）研修 R05/08/17	広島市私立保育協会	広島市	一人一人の個性を大切にす製作	保育士	有地
食育講座(1回目) R05/08/22	広島市保育連盟	広島市	「保育園」という生活の場における食育	保育士	本島
○ 虐待に関する講座（1回目） R05/08/24	広島市保育連盟	広島市	「とも育て」と「きょうどう子育て」の重要性他	保育士	木寺
○ 要保護児童等対策に関する東区私立保育施設連絡会 R05/08/28	広島市・東区	広島市	広島市全域、東区の虐待現状報告 他	施設長	平田
第3回発達支援コーディネーター養成講座 R05/09/01	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	吃音のある児の理解と支援	保育士	福島
わかくさ保育園公開実践 R05/09/14	広島市(教育委員会・子ども未来局)	広島市	子どもの実際の姿を通して育ちや学びを捉える 他	保育士	穴井
広島県保育士等キャリアアップ研修 R05/09/15 ～ R06/01/16	㈱ポピンズプロフェッショナル	広島市	⑥障害児保育	保育士	木寺
あそびと発達の講座(2回目) R05/10/02	広島市保育連盟	広島市	保育の「ねらい」と「内容」を理解し保育実践を語る力を身に付け	保育士	八木
障害児保育士・主任保育士・主幹保育教諭研修会 R05/10/03	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	保護者支援及び関係機関との連携	保育士	宇野

研修会名	主催	場所	研修内容	職種	参加者
第4回発達支援コーディネーター養成講座 R05/10/18	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	小学校への引継ぎ～就学相談と保護者支援～	保育士	福島
広島県保育士等キャリアアップ研修 R05/11/01 ～ R06/01/24	(株)ポピンズプロフェッショナル	広島市	④乳児保育	保育士	有地
第61回広島県造形教育研究大会 R05/11/10	広島県造形教育連盟	広島県	子どもたちがのびのび楽しむ造形あそび	保育士	田川
障害児加配保育士研修会 R05/11/14	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	障害児保育に関する理解を深める	保育士	木寺
○ 危機管理研修会 R05/11/20	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	広島市の児童虐待状況を把握し、保育園等の役割について考える	施設長	平田
○ 虐待に関する講座 R05/11/24	広島市保育連盟	広島市	子どもの最善の利益を守るため、知識や取り組みを学ぶ	保育士	有馬
広島県保育士等キャリアアップ研修 R05/12/01 ～ R06/02/22	(株)ポピンズプロフェッショナル	広島市	⑤保護者支援・子育て支援	保育士	穴井
広島県保育士等キャリアアップ研修 R05/12/01 ～ R06/02/27	(株)ポピンズプロフェッショナル	広島市	⑦マネジメント	保育士	本島
第5回発達支援コーディネーター研修 R05/12/18	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	「ライフステージを見据えた支援」他	保育士	福島
保育士対象発達障害児基礎研修 R05/12/25	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	発達障害の正しい認識を持ち、発達障害児への関わり方の充実を図	保育士	宇野
広島市保育連盟研究発表会 R06/02/09	広島市保育連盟	広島市	研究発表	保育士	本島
第2回広島市幼稚園教諭・保育士新規採用者合同研修 R06/02/09	広島市(教育委員会・子ども未来局)	広島市	広島市全体の幼児教育と保育の一体的な質の向上を図る	保育士	谷口
第2回広島市幼稚園教諭・保育士新規採用者合同研修 R06/02/20	広島市(教育委員会・子ども未来局)	広島市	広島市全体の幼児教育と保育の一体的な質の向上を図る	保育士	吉村
行政説明会・臨時社員総会 R06/03/26	広島市・広島市私立保育協会	広島市	令和6年度事業計画(案)について他	施設長	平田
			「以下余白」		

(3)-5 施設職員の研修状況等 (児童家庭支援センターわかくさ)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

児童家庭支援センターわかくさ

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会 (児童家庭支援センターわかくさ)	R5. 9/21,10/24,R6. 1/18 循環型人材育成研修 I	2	[外] 岡本 晴美 氏	保育士
院内勉強会 (児童家庭支援センターわかくさ)	R5. 6/1,9/6, 12/12 循環型人材育成研修 S	1	[外] 岡本 晴美 氏	児童指導員
院内勉強会 (児童家庭支援センターわかくさ)	R5. 7/13,9/14,11/30 循環型人材育成研修 H	1	[外] 岡本 晴美 氏	児童指導員
院内勉強会 (児童家庭支援センターわかくさ)	R5. 11/2,11/6,11/9,11/10,11/13 ハラスメント防止・公益通報研修会	2	[内] 的場参事	保育士・児童指導員
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				
院内勉強会 ()				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
()	別紙		

(3)-6 施設職員の研修状況等 (本部)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

研修名・実施機関(下段)		研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会		R5. 11/2,11/6,11/9,11/10,11/13	9	[内] 的場参事	本部事務員
(本部)	ハラスメント防止・公益通報研修会				
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					
院内勉強会					
()					

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
()	別紙		

10 北村基金の状況について

(1) 収入 寄付金 0円

(2) 支出

① 奨学金	4件	800,000円
② 職員表彰（勤続10年）	1件	17,600円

11 施設設備等の整備状況について

(1) きずなの家分園竣工

床面積 907.73 m²、鉄筋コンクリート造陸屋根3階建

(2) 車両更新

広島乳児院 新型セレナ（8人乗りバン）

12 寄付、寄贈について

(1) 寄付

区分	寄付件数	寄付金額	備考
令和4年度	226	24,133,746円	
令和5年度	209	56,511,685円	遺贈1件、37,455千円

(2) 寄贈

区分	寄贈件数	寄贈品の主なもの
令和4年度	445	紙パンツ、マスク、衣類などの日用品、米・
令和5年度	382	野菜などの食料品、玩具、絵本

13 社会福祉充実計画の履行状況

(1) 計画内容

① 計画の対象期間

令和4年度～令和6年度

- ・光町事務所整備事業（R4.10～R5.3）

アフターケアひかり及び児童家庭支援センターが入居する事務所の施設改修、整備

- ・広島修道院きずなの家分園開設事業（R4.8～R7.3）

広島修道院きずなの家分園を整備し、6名×4グループの小規模グループケアを実施

② 社会福祉充実計画の事業計画

(単位：千円)

区分		R4年度	R5年度	R6年度	計
計画実施期間における事業費		9,475	405,000	0	414,475
財源構成	社会福祉充実残額	7,575	217,585	0	225,160
	補助金	1,900	187,200	0	189,100
	その他		215	0	215

(2) 令和5年度履行状況

(単位：千円)

区分		実績額	備考
計画実施期間における事業費		397,320	建築費用 385,000 設計・監理費用 12,320
財源構成	社会福祉充実残額	107,798	
	補助金	289,522	
	その他		